

別海町文化財保存活用地域計画
アンケート調査
結果報告

令和 5 年 3 月
別海町教育委員会

目 次

調査概要

1. 調査の目的
2. 調査の方法

無作為抽出の町民アンケート調査結果

1. 回答者の属性
2. 別海のおたからへの興味・関心について（質問 1、2）
3. 別海のおたからの認知度（質問 3（1）、（2）、（3））
4. 将来残したい別海のおたから（質問 4）
5. 町外の人に見てもらいたい別海のおたから（質問 5）
6. 訪れたことのある場所（質問 6）
7. 別海のおたからの保存・活用について（質問 7、8）
8. 情報収集の手段（質問 9）
9. その他、自由意見（質問 10）

WEB アンケート調査結果

1. 回答者の属性（問 1～4）
2. 将来残したい別海のおたから（問 5）

自治会アンケート調査結果

1. 回答者の属性
2. 自治会で所有・管理している資料等について（質問 1、2）
3. 地域のおたからについて（質問 3）

※町民アンケートのクロス集計について

- ・クロス集計では、それぞれの属性ごとに「●%」の回答率になるか分析しました。
- ・年代は「10~30代」、「40・50代」、「60・70代以上」の3つに分けました。
- ・居住地区は「東部（海岸部）」、「中部」、「西部」、「別海（市街）」の4つに分けました。
 - 東部（海岸部）：尾岱沼、走古丹、床丹、本別海
 - 中部：中西別、中春別、豊原、美原、上風連、奥行
 - 西部：西春別駅前、西春別、上春別、大成、本別、泉川、矢白別
 - 別海（市街）：別海

調査概要

1. 調査の目的

別海町教育委員会では、「文化財保存活用地域計画」の作成にあたり、町民の方々が大切に思う“別海のおたから”に関する意見を収集し、加えて別海の歴史・文化に対する町民の認識を把握することで、今後の文化財行政の施策推進に役立てることを目的としたアンケート調査を実施しました。

2. 調査の方法

アンケート調査は3種類を実施しました。それぞれの内容は以下のとおりです。

(1) 無作為抽出の町民アンケート調査

- ・ 調査対象：1,000 名（無作為抽出）
- ・ 調査期間：令和 5 年 1 月 10 日～1 月 27 日
- ・ 調査方法：郵送配布→郵送回収
- ・ 回答状況：

	配布数	回収数	回収率
町民	1,000 票	235 票	23.5 %

(2) WEB アンケート調査

- ・ 調査対象：“別海のおたから”に関心のある方々
- ・ 調査期間：令和 5 年 1 月 1 日～1 月 27 日
- ・ 調査方法：広報別海の 1 月号や別海町の SNS で募集案内→WEB 回答
- ・ 回答状況：7 名

(3) 自治会アンケート調査

- ・ 調査対象：別海町の町内会長
- ・ 調査期間：令和 5 年 1 月 10 日～1 月 27 日
- ・ 調査方法：郵送配布→郵送回収
- ・ 回答状況：

	配布数	回収数	回収率
町内会長	113 票	28 票	24.8 %

(無作為抽出の市民 1,000 人へ送付)

次世代に伝えたい 別海のおたから アンケート

(該当する番号に ○ をつけてください。)

【性別】 1. 男性 2. 女性

【年 齢】 1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

【お住まいの地区】

1. 別海 2. 中西別 3. 奥行 4. 尾岱沼 5. 走古丹 6. 本別海
7. 床丹 8. 中春別 9. 豊原 10. 美原 11. 上風連 12. 西春別駅前
13. 西春別 14. 上春別 15. 大成 16. 本別 17. 泉川 18. 矢白別

【出身地】

1. 生まれてからずっと別海町 2. 別海町生まれで別海町に戻ってきた
3. 道内(別海町以外)出身 4. 道外出身

質問1 あなたは別海のおたからに興味・関心がありますか。

1. ある 2. どちらかと言えばある 3. どちらかと言えばない
4. ない 5. わからない

質問2 質問1で「ある」「どちらかと言えばある」と回答した人におたすねします。どのような別海のおたからに興味・関心がありますか。(複数回答可能)

1. 古い建物 2. 神社やお寺 3. 野付の千島板などの天然記念物
4. 古文書や古い写真 5. たて穴住居跡や土器などの埋蔵文化財
6. 廃校になった学校などがあった場所 7. 生活用具などの民俗資料
8. 船倉や漁業の風景 9. 鉄道公園の車両や旧平駅などの鉄道遺産
10. 別海音頭などの無形文化財 11. 打瀬網漁などの伝統漁法
12. 各地区にある記念碑 13. 昔のことをよく知っている高齢者
14. トバケルイなどの食文化 15. その他 ()

質問3 別海のおたからには国・道・町指定文化財や別海町歴史文化遺産、日本遺産「鮭の聖地」の物語の構成文化財などがあります。次のうち知っているものや見たことがあるものに○をつけてください。(複数回答可能) 別添の「別海のおたから紹介」も参考にしてください。

(1) 国・道・町指定文化財

1. 旧奥行臼駅遺跡 2. 西別渚原ヤチカンバ群落地 3. 西別開基の松
4. 野付の千島板 5. 試作場の板 6. オクユキウスの大櫓
7. 風連の櫓林、開墾記念のスモモ 8. 奥行臼駅 9. 蝦山の松
10. 本別海一本松 11. 役場支所の柏 12. 旧別海村宮軌道風連線奥行臼停留所
13. 広野開拓六木の柏 14. 上西春別小学校の柏 15. 加賀家文書
16. 野付半島沖マンモスフクロ石群 17. 厨子入南矢別馬頭観世音菩薩坐像
18. 旧柏野尋常小学校奉安殿

(2) 別海町歴史文化遺産

1. 旧開拓使別海出張所 2. 旧西別神社祠 3. 西別神社々誌
4. 在日米軍偵察爆撃機 RB29 プロペラブレード 5. 西別稲荷神社本殿
6. 西別稲荷神社牛皮太鼓 7. 昭和小学校跡
8. 旧別海村村宮軌道風連線上風連停留所機関庫・油庫
9. 旧国鉄標準線床丹3の川鉄橋米軍空襲跡
10. 第一次伊能忠敬測量隊最東端測量の地 11. 別海音頭
12. 旧国鉄標準線上春別駅跡 13. 風連湖の水下待ち網漁
14. 旧陸軍計根別第一飛行場1号有蓋構体

(3) 日本遺産「鮭の聖地」の物語の構成文化財

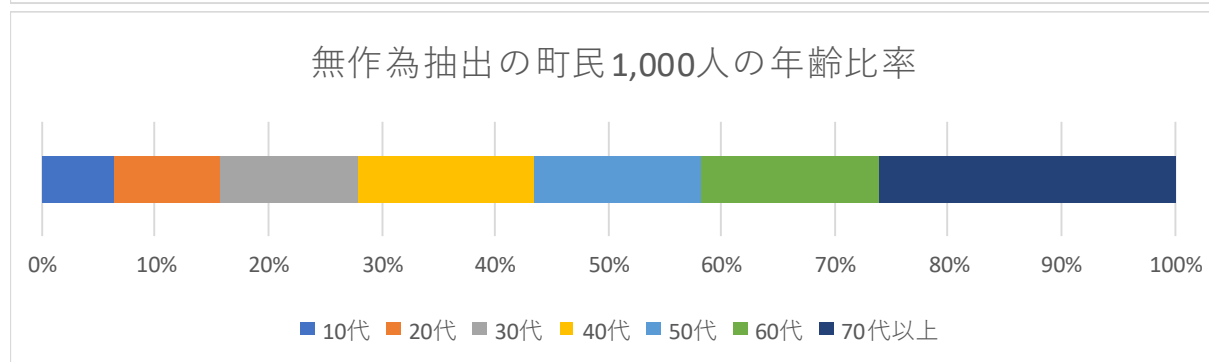
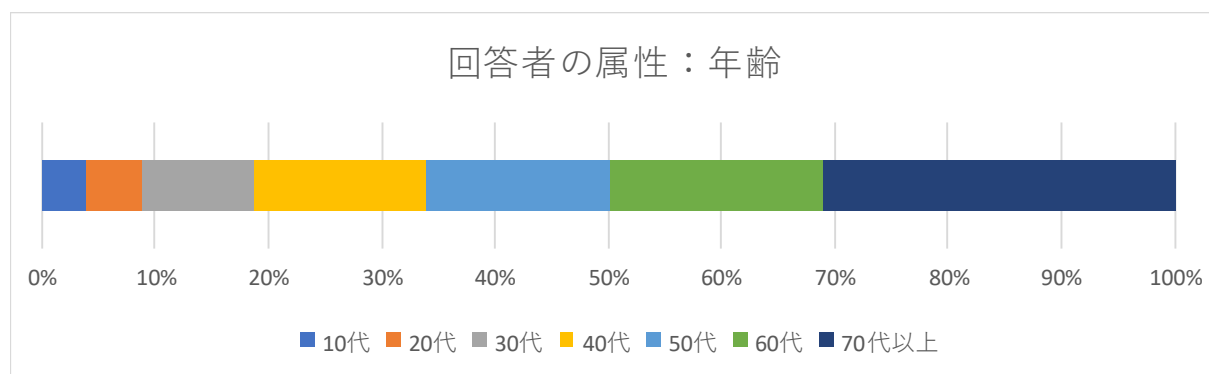
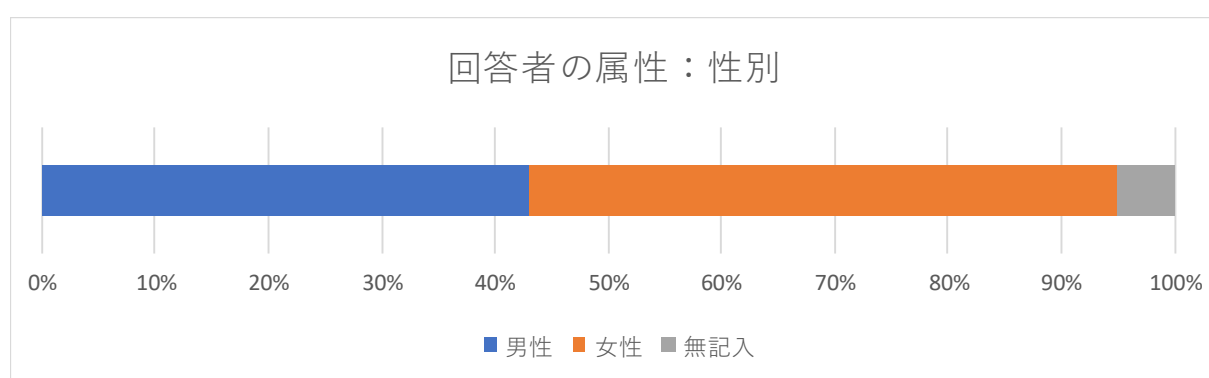
1. 野付半島 2. 野付通行屋跡遺跡 3. 鮭とばを干す風景
4. 山渡りの製法 5. 鮭飯寿司の文化 6. 根家海峡沿岸の鮭・鮭漁上河川
7. 野付湾の打瀬網漁 8. 旧国鉄別海駅一厚床駅間線跡 9. 旧国鉄光道駅
10. 旧国鉄平駅 11. 根網パイロットファーム関連文化財群
12. 根網台地の船倉建造物群 13. 根網台地の格子状防風林

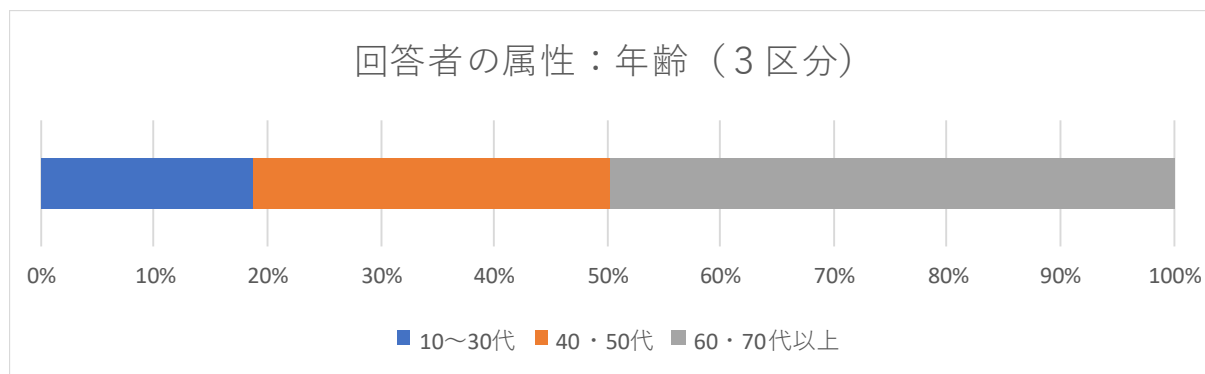
- 2 -

無作為抽出の町民アンケート調査結果

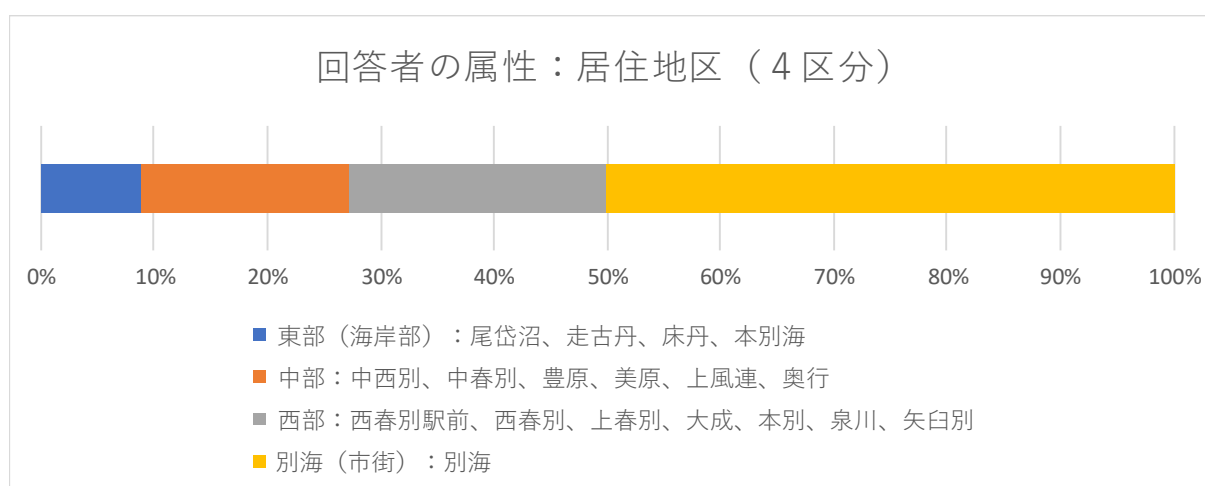
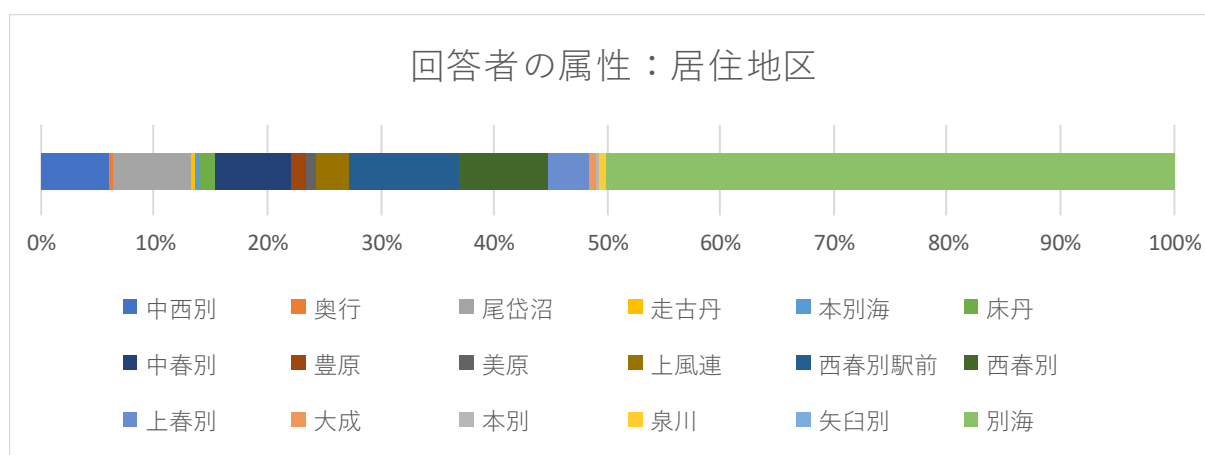
1. 回答者の属性

性別、年齢、居住地区、出身地の4項目を回答者の属性として設定しました。性別は男性43%、女性52%、無記入5%と女性からの回答率が高くなっています。年齢は10代が3.8%、20代が5.1%、30代が9.8%、40代が15.4%、50代が16.2%、60代が18.7%、70代以上が31%と70代以上からの回答率が高くなっています。アンケートを配布した1,000人の年齢比率と比べると、10～30代の回答率が低くなっており、50代～70代以上の回答率が高い傾向にあります。

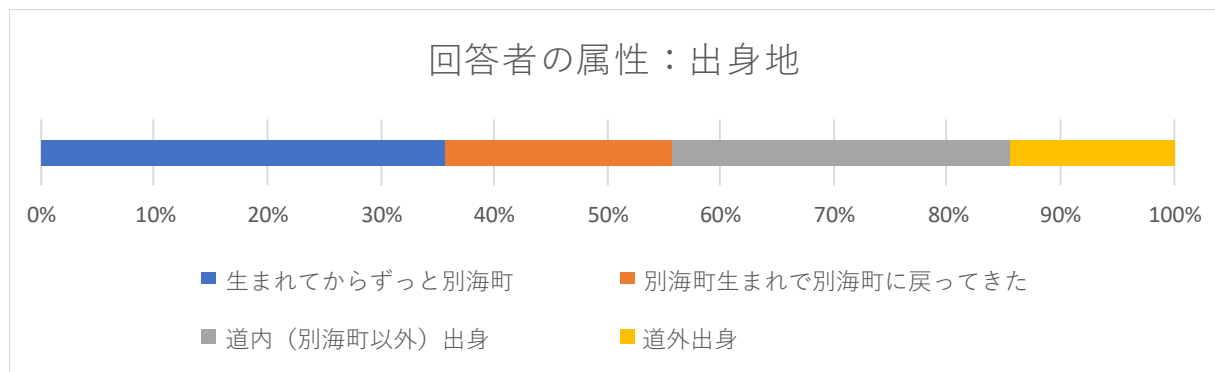




居住地区は「別海」が50.2%を占めており、次いで「西春別駅前」、「西春別」、「尾岱沼」「中春別」の順になっています。なお、「矢白別」の回答は0件でした。居住地区を4区分（東部、中部、西部、別海）でみると、「別海」が50.2%、「西部」が22.5%、「中部」が18.3%、「東部」が9%となっています。



出身地は「生まれてからずっと別海町」が 36%、「別海町生まれで別海町に戻ってきた」が 20%、「道内（別海町以外）出身」が 30%、「道外出身」が 14%となっています。

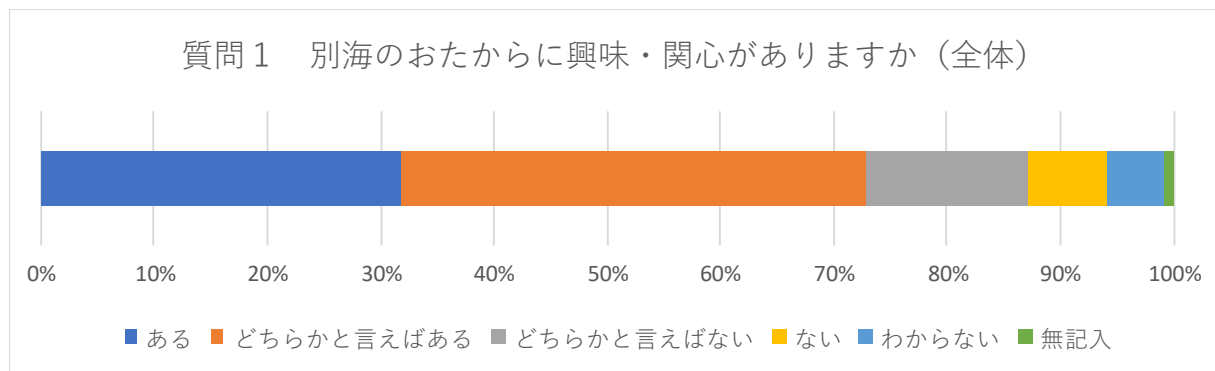


2. 別海のおたからへの興味・関心について（質問 1、2）

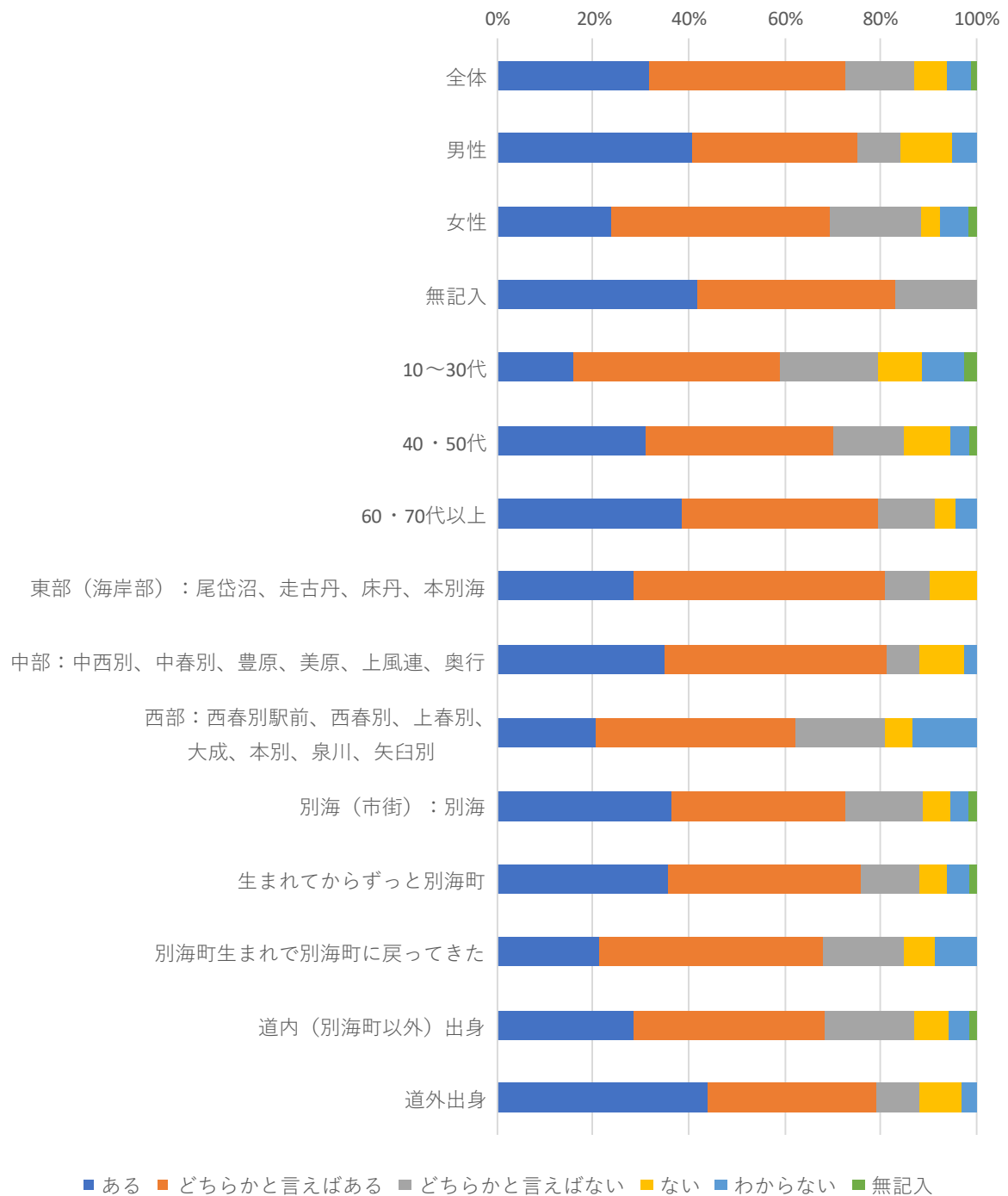
質問 1

別海のおたからへの興味・関心について、全体では「ある」、「どちらかと言えばある」が 7 割を超えています。

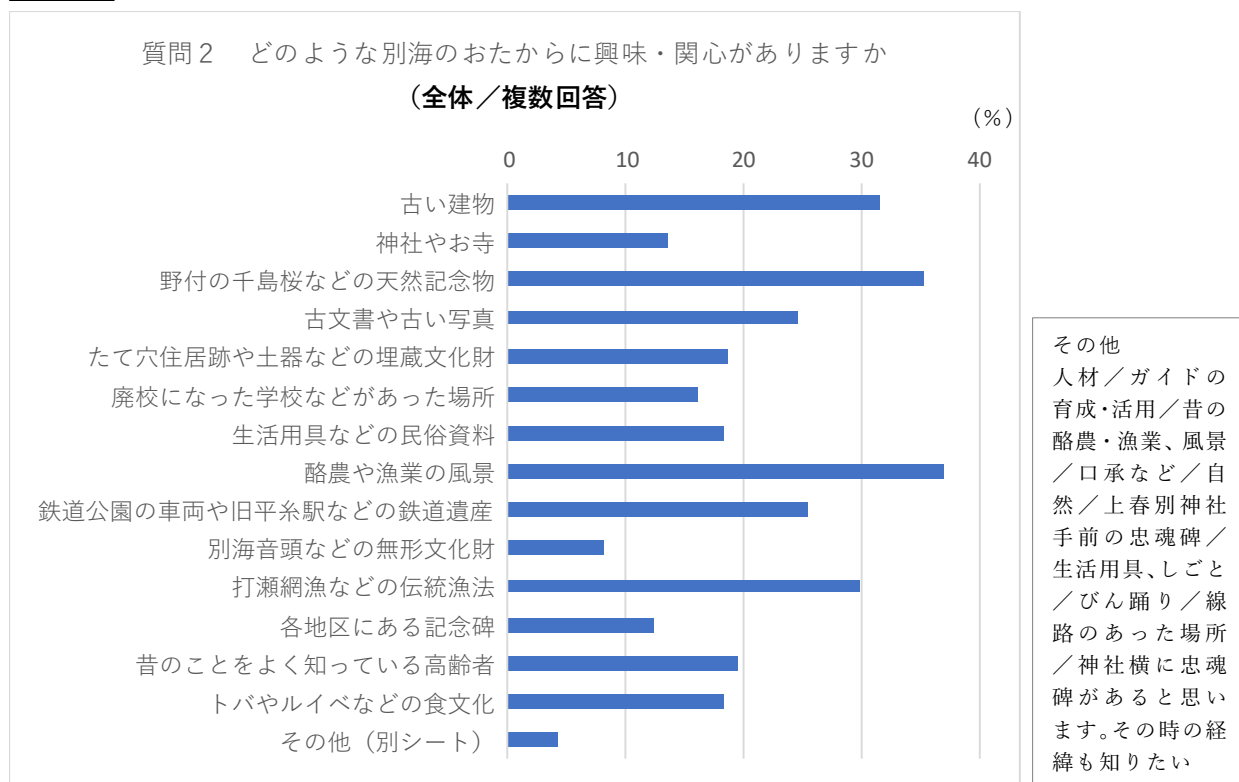
性別で比べると「ある」、「どちらかと言えばある」と答えた割合は女性のほうがやや低くなっています。年齢（3 区分）で比べると、「ある」、「どちらかと言えばある」と答えた割合は 10～30 代が最も低く、60・70 代以上が高くなっています。居住地区（4 区分）で比べると、「西部」では「ある」、「どちらかと言えばある」と答えた割合が 6 割近くで、他と比べてやや低くなっています。出身地で比べると、「ある」、「どちらかと言えばある」と答えた割合は「道外出身」が最も高く、8 割近くになっています。



質問1 別海のおたからに興味・関心がありますか（全体／属性ごと）

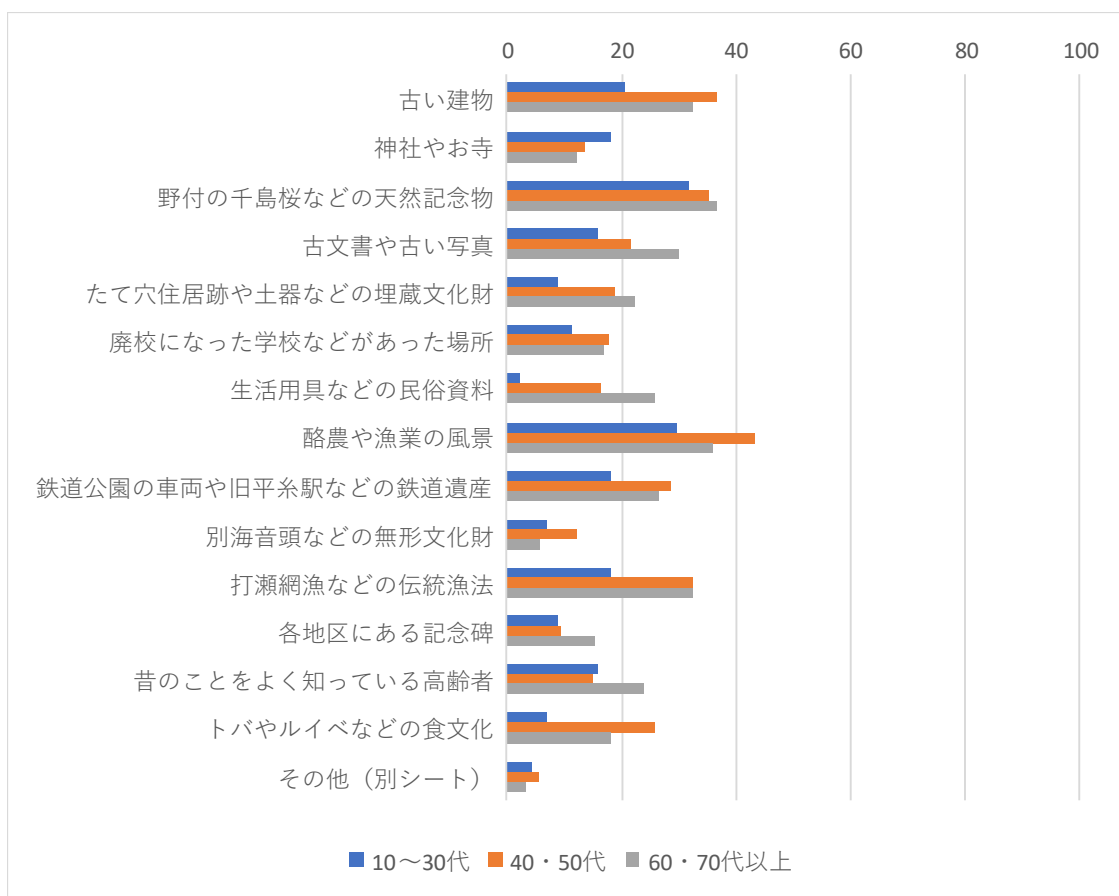
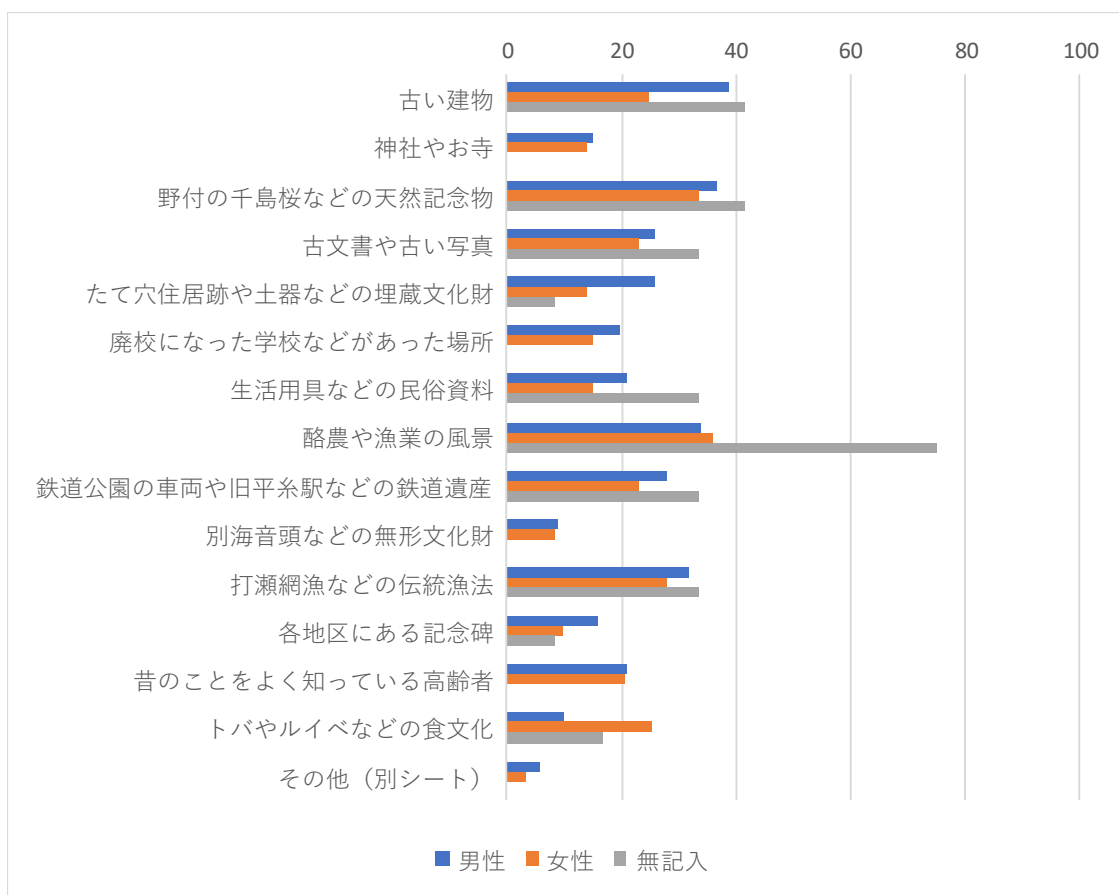


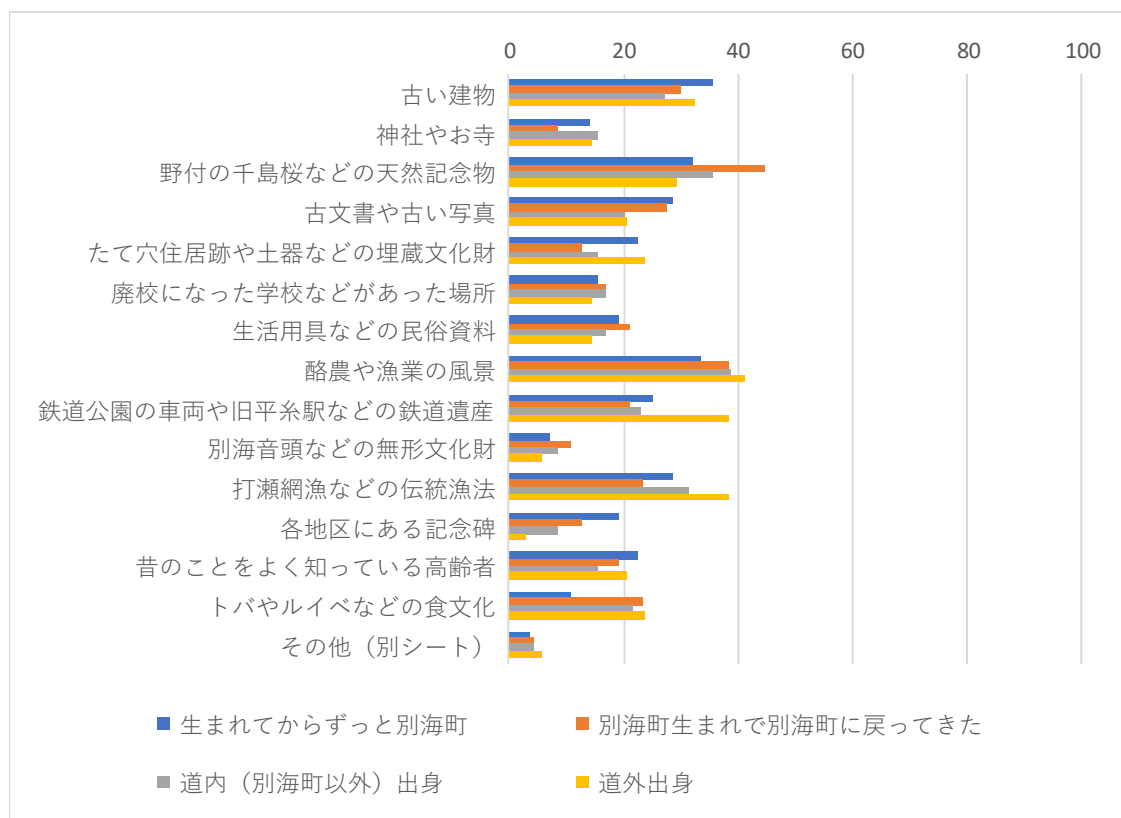
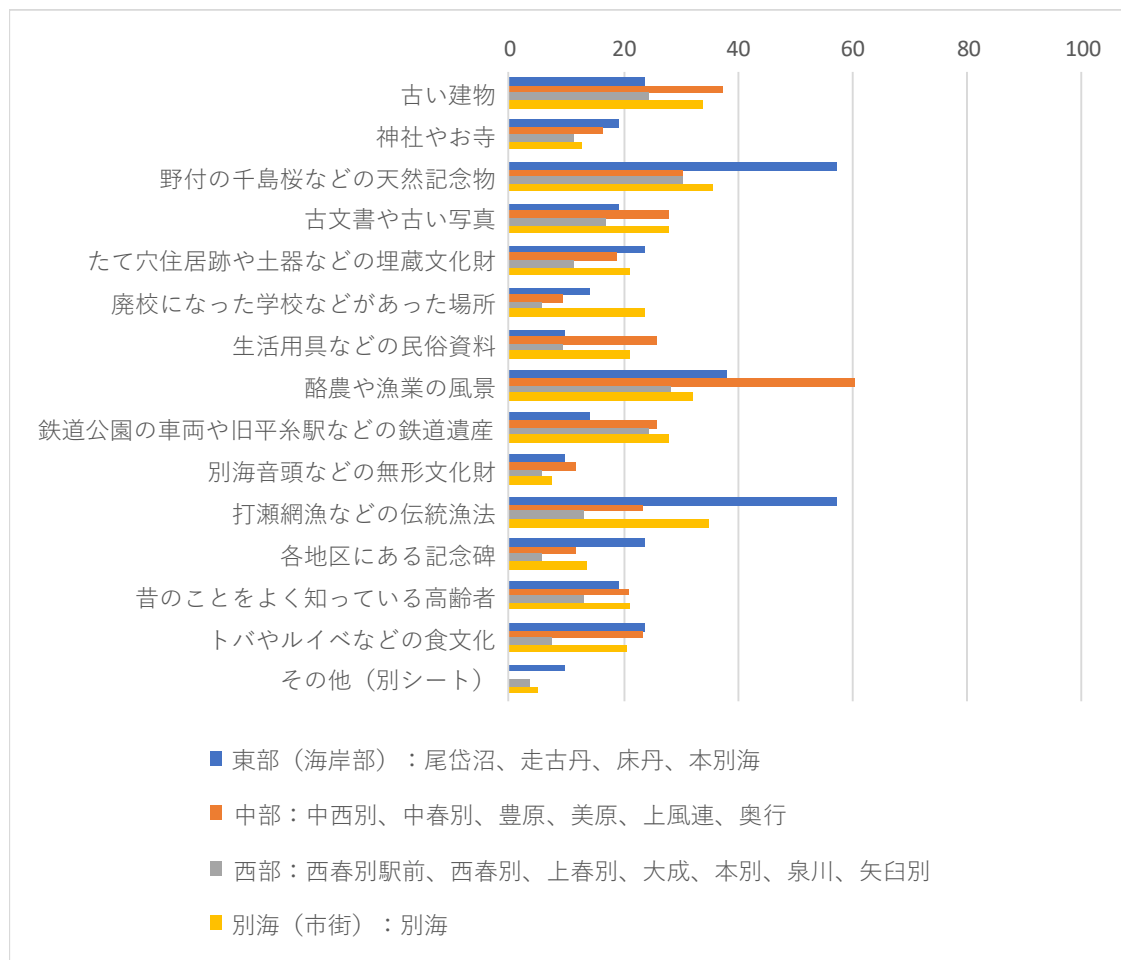
質問 2



別海のおたからへの興味・関心について、全体では「酪農や漁業の風景」が最も多く、次いで「野付の千島桜などの天然記念物」、「古い建物」、「打瀬網漁などの伝統漁法」の順になっています。

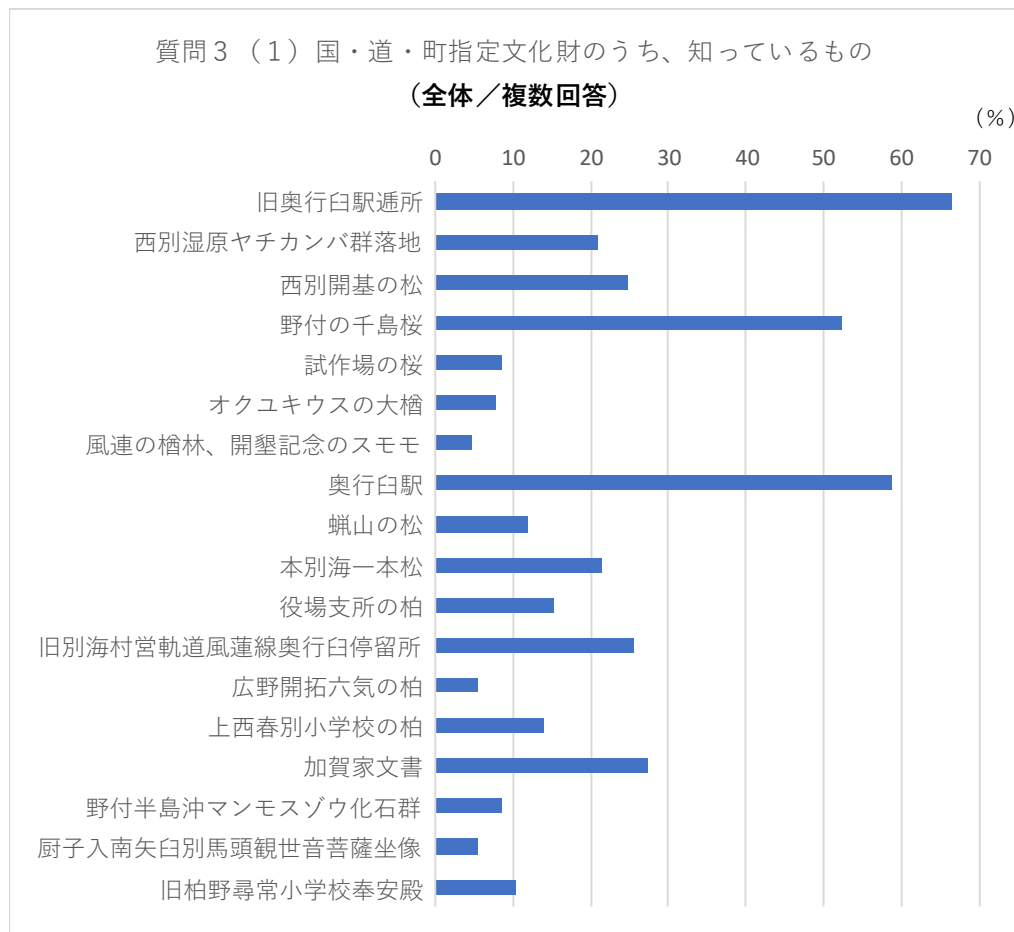
性別で比べると「トバやルイベなどの食文化」は女性のほうが回答率が高く、男性の3倍近くあります。年齢（3区分）で比べると、「生活用具などの民俗資料」は60・70代以上が多くなっており、自身が若い頃に使用した道具類への愛着などが関係していると考えられます。居住地区（4区分）で比べると、東部（海岸部）において「野付の千島桜などの天然記念物」や「打瀬網漁などの伝統漁法」の回答率が高くなっています。「酪農や漁業の風景」は中部が最も高く6割を超えています。出身地で比べると、「鉄道公園の車両や旧平糸駅などの鉄道遺産」は「道外出身」が最も高くなっています。





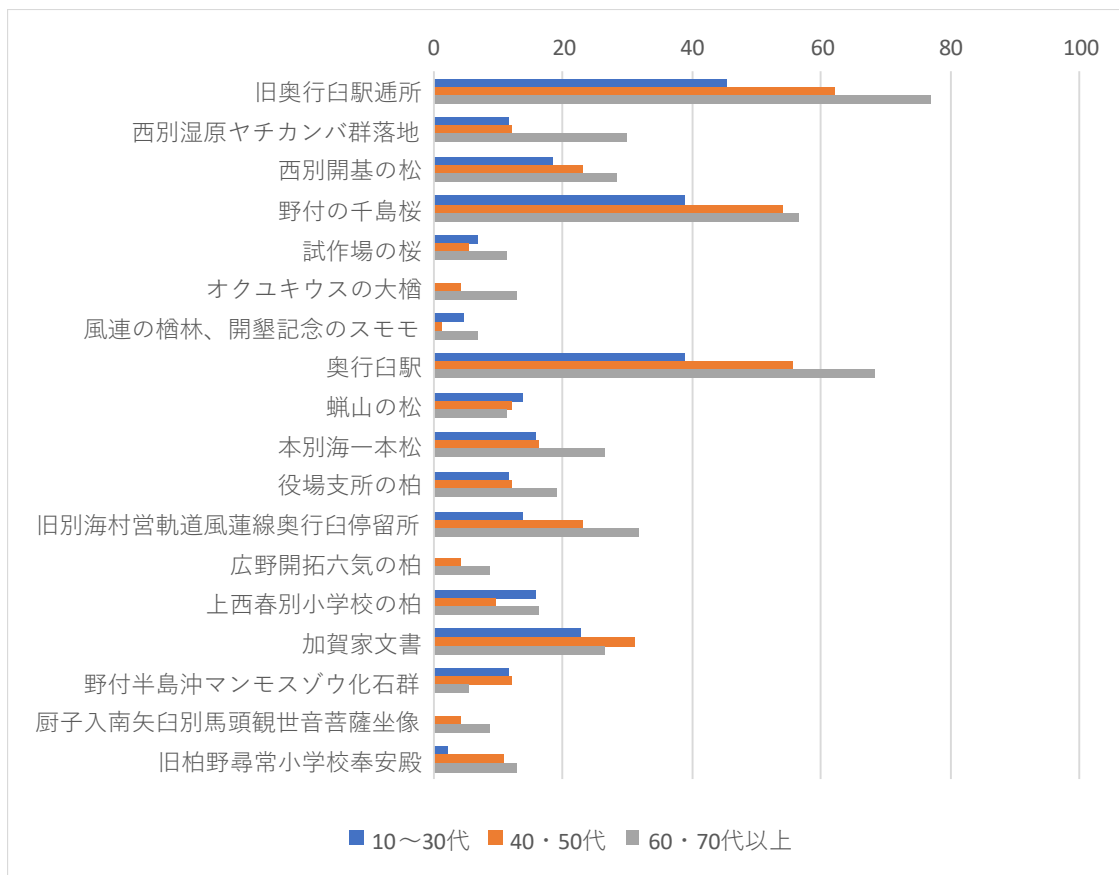
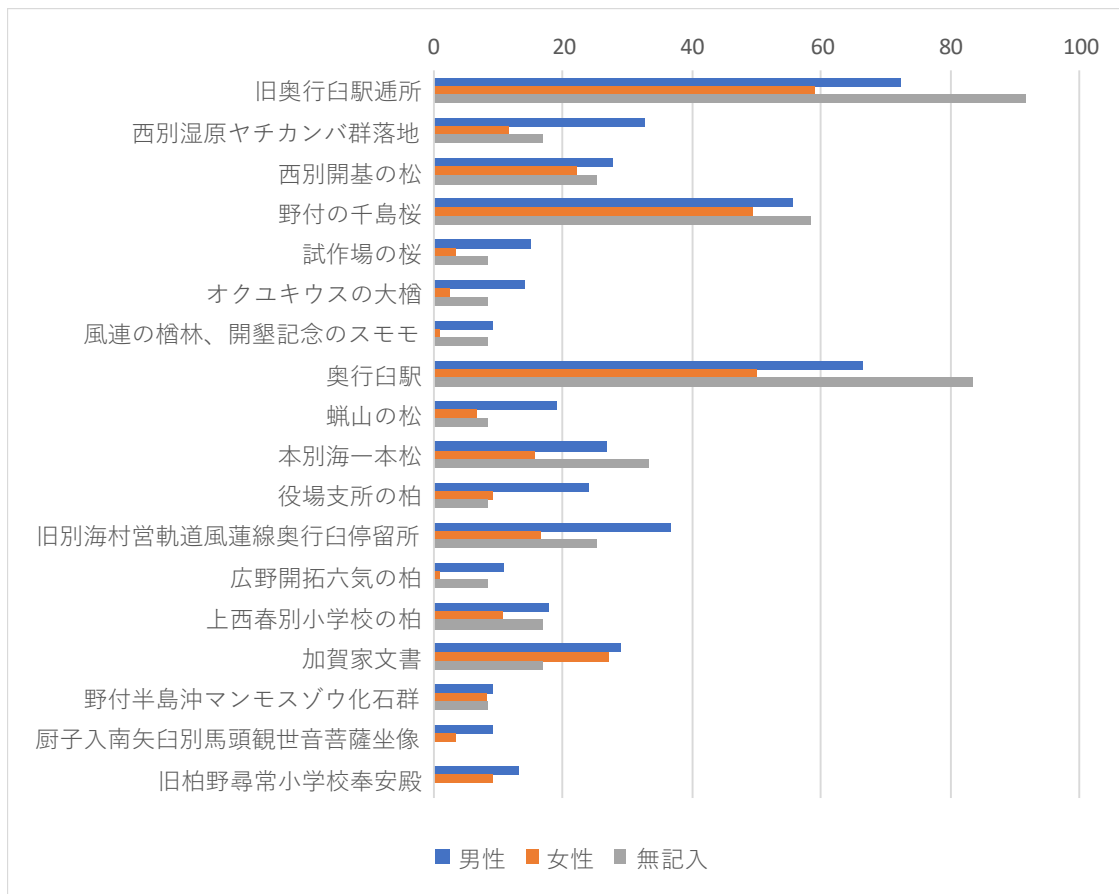
3. 別海のおたからの認知度（質問3（1）、（2）、（3））

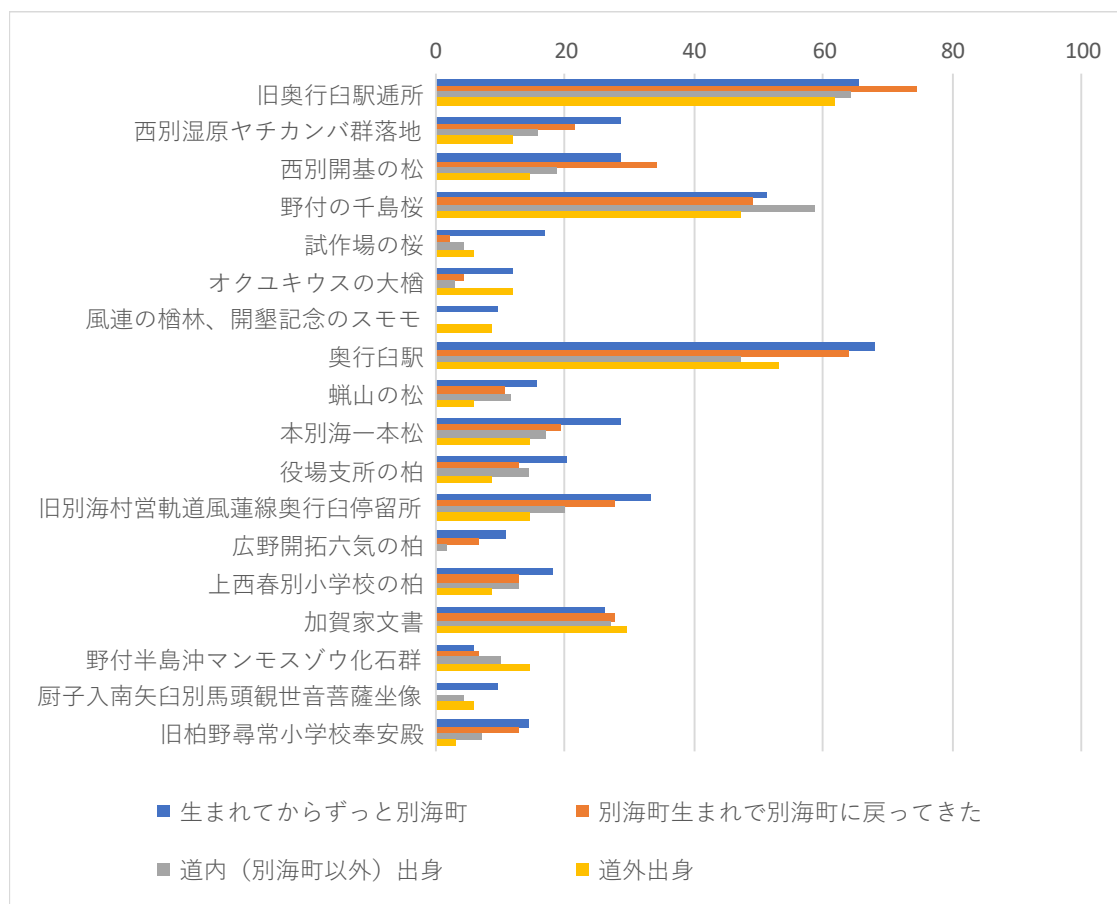
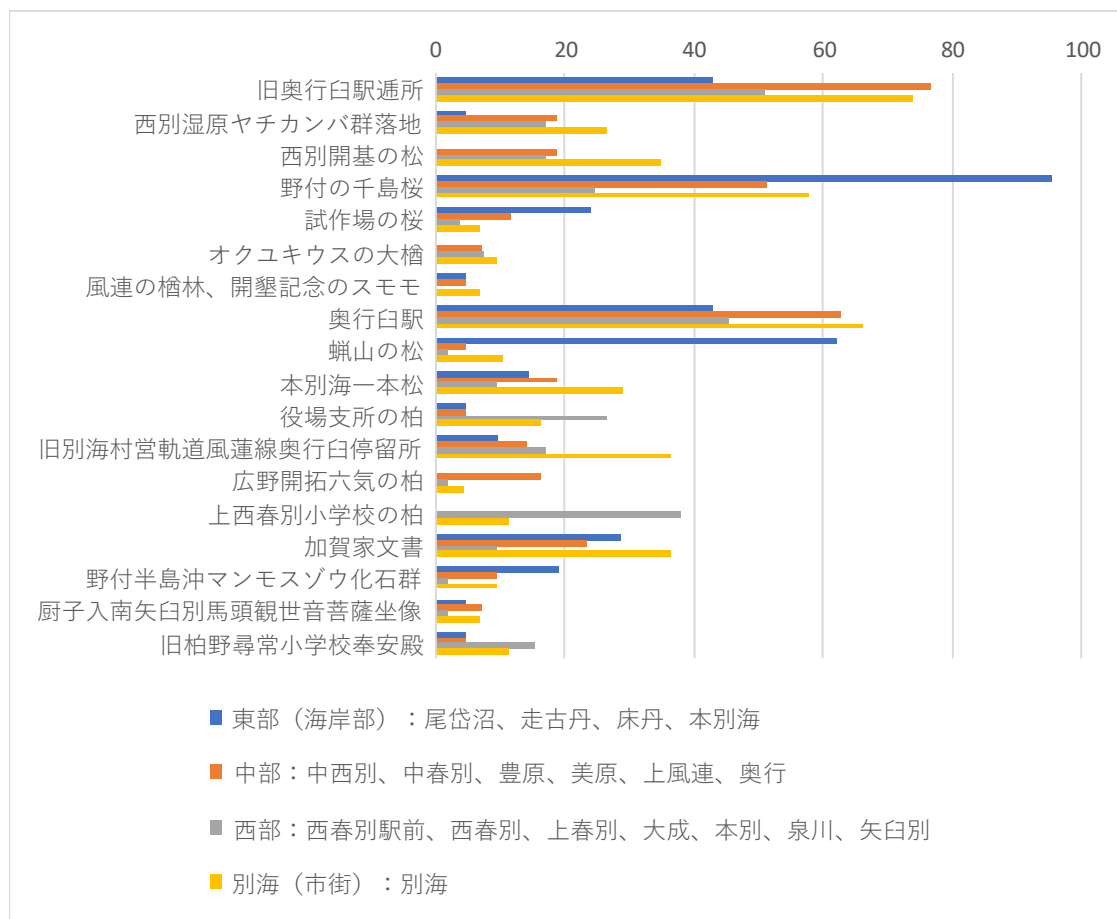
質問3（1）



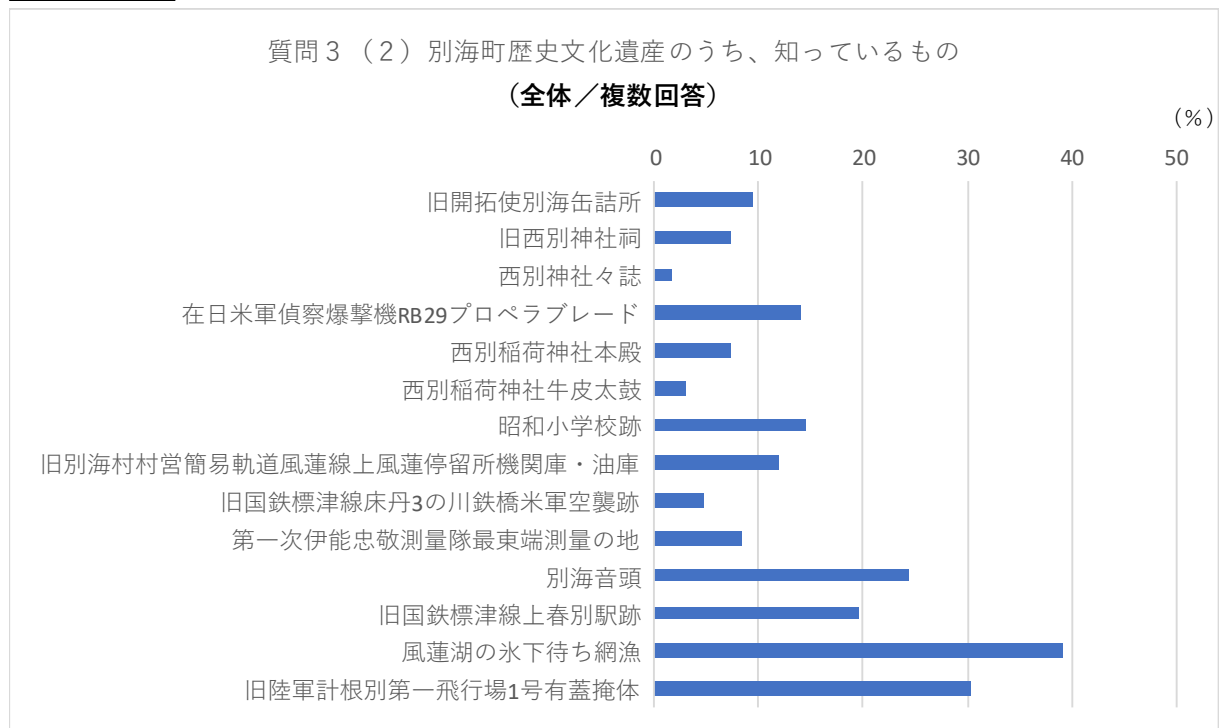
国・道・町指定文化財の認知度について、全体では「旧奥行臼駅通所」が最も多く、次いで「奥行臼駅」、「野付の千島桜」、「加賀家文書」の順になっています。

性別で比べると「西別湿原ヤチカンバ群落地」、「試作場の桜」、「オクユキウスの大櫓」、「風連の櫓林、開墾記念のスモモ」、「広野開拓六気の柏」などの天然記念物は女性の回答率が低くなっています。年齢（3区分）で比べると、ほとんどの項目で60・70代以上の回答率が最も高くなっていますが、「野付半島沖マンモスゾウ化石群」は60・70代以上の回答率が最も低くなっています。居住地区（4区分）で比べると、「野付の千島桜」は東部（海岸部）で回答率が9割を超えています。出身地で比べると、ほとんどの項目で「生まれてからずっと別海町」の回答率が最も高くなっていますが、「加賀家文書」や「野付半島沖マンモスゾウ化石群」といった資料館に所蔵されているものについては、「生まれてからずっと別海町」の回答率が低くなっています。



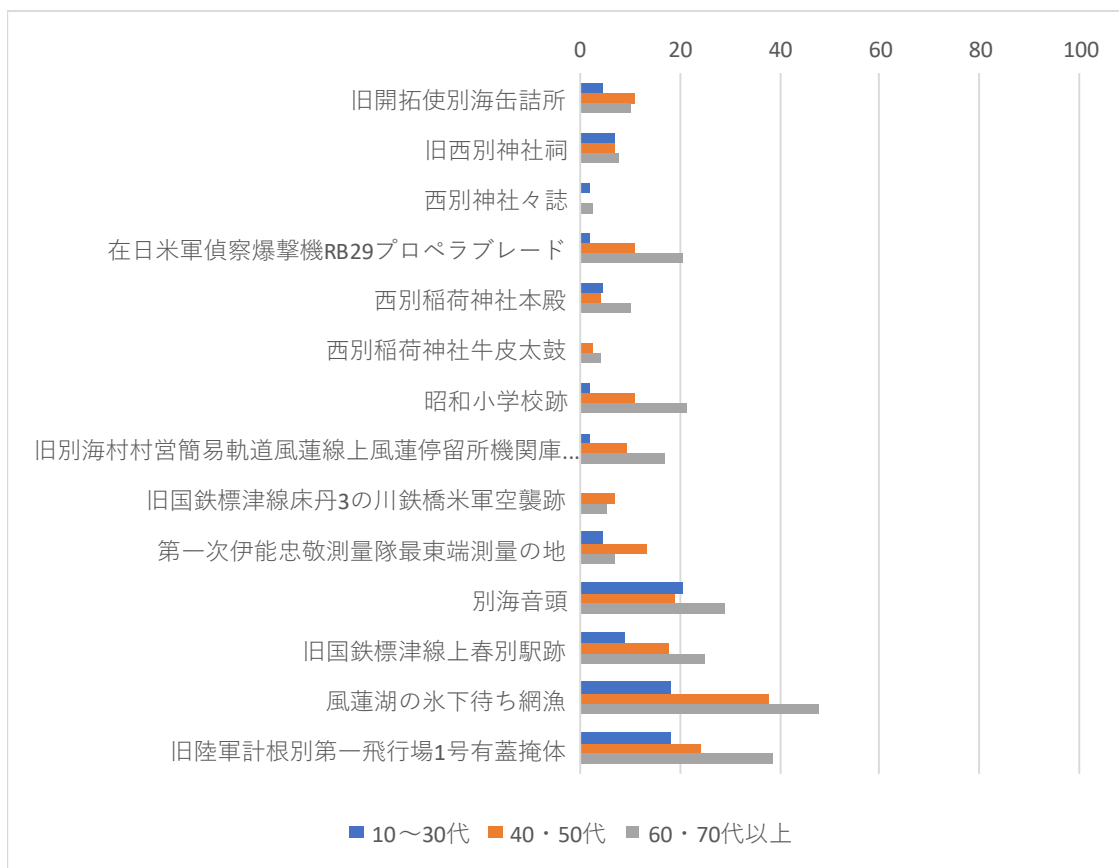
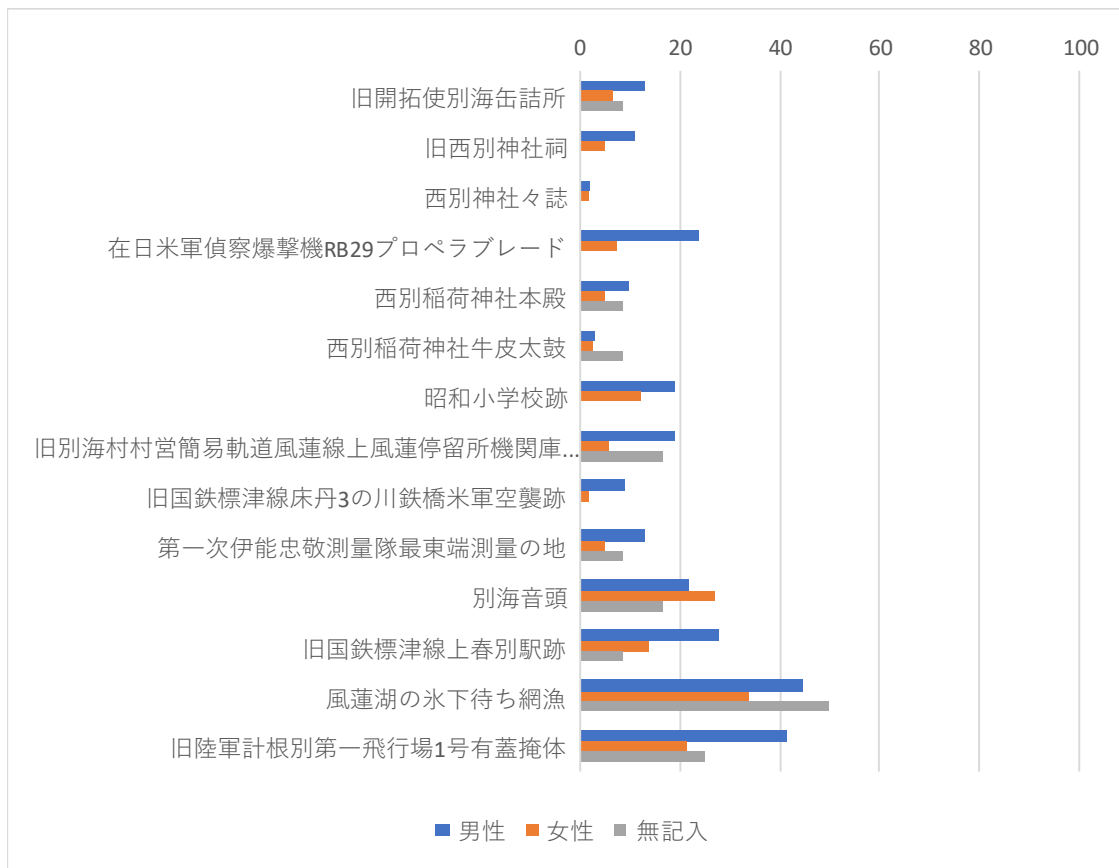


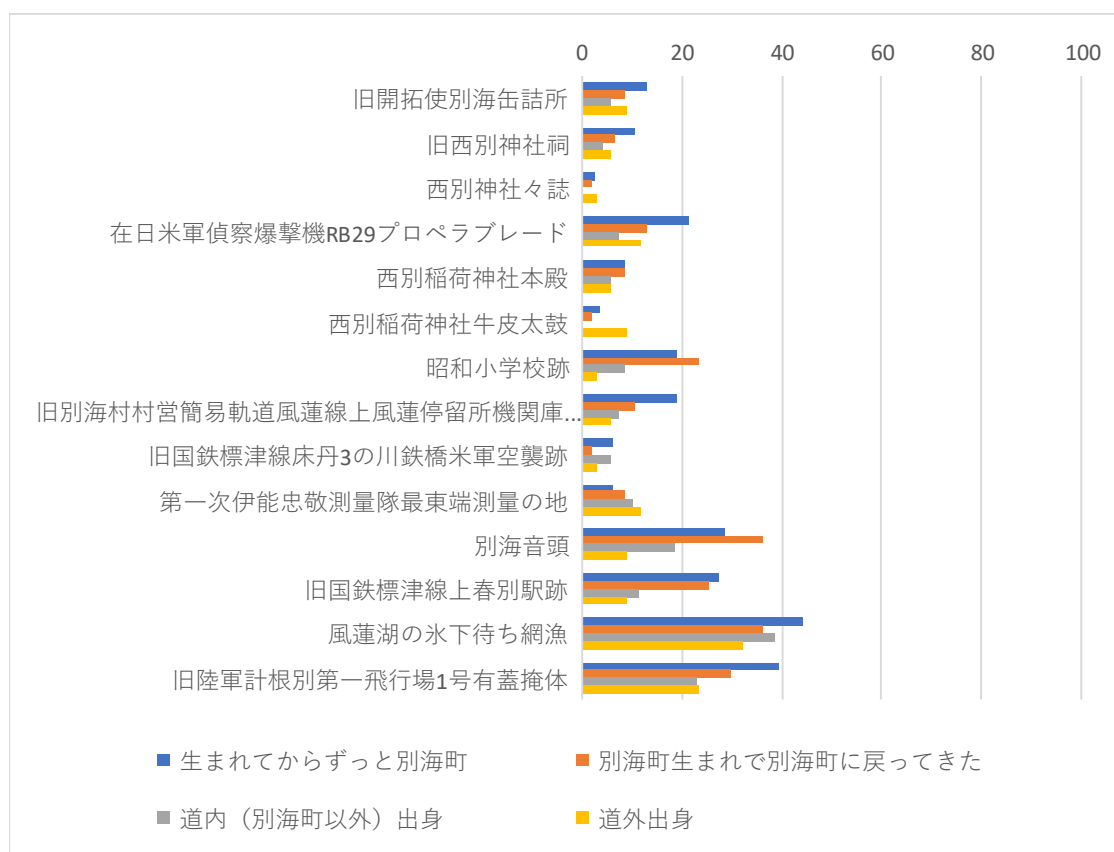
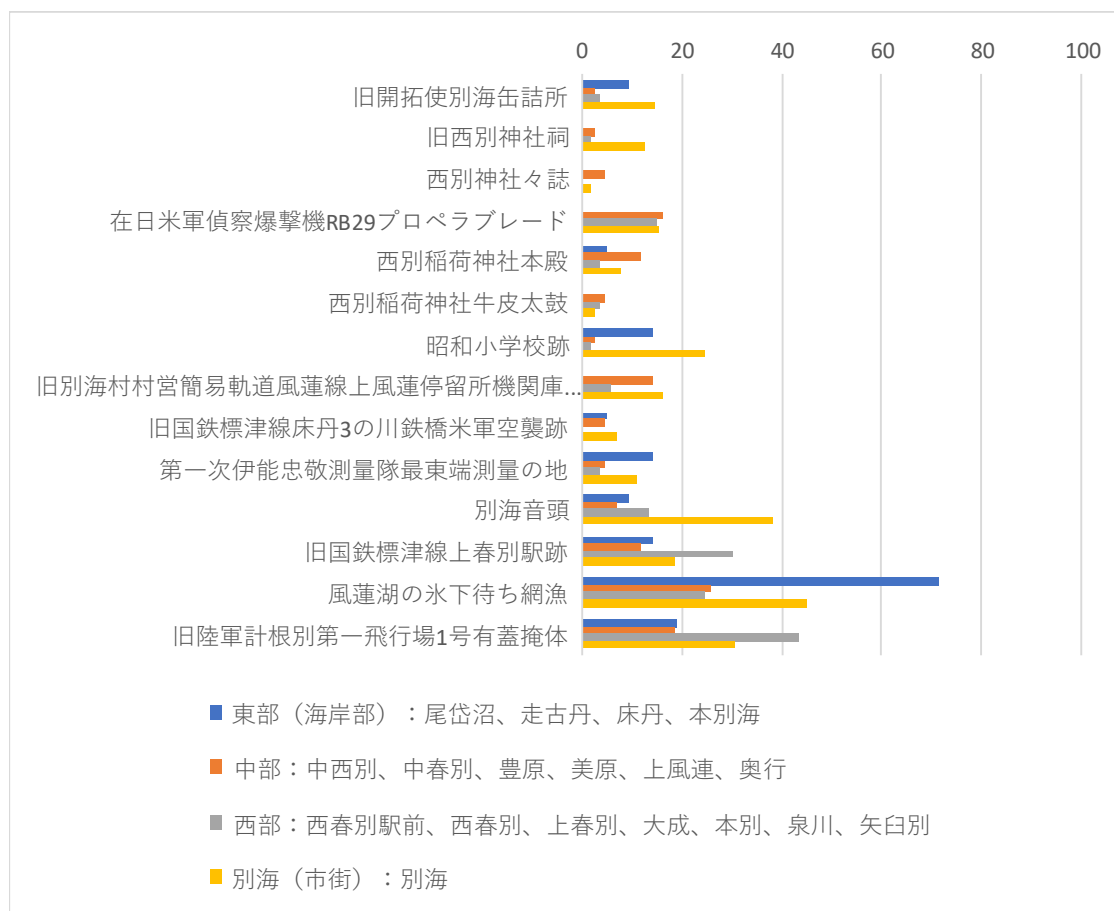
質問 3 (2)



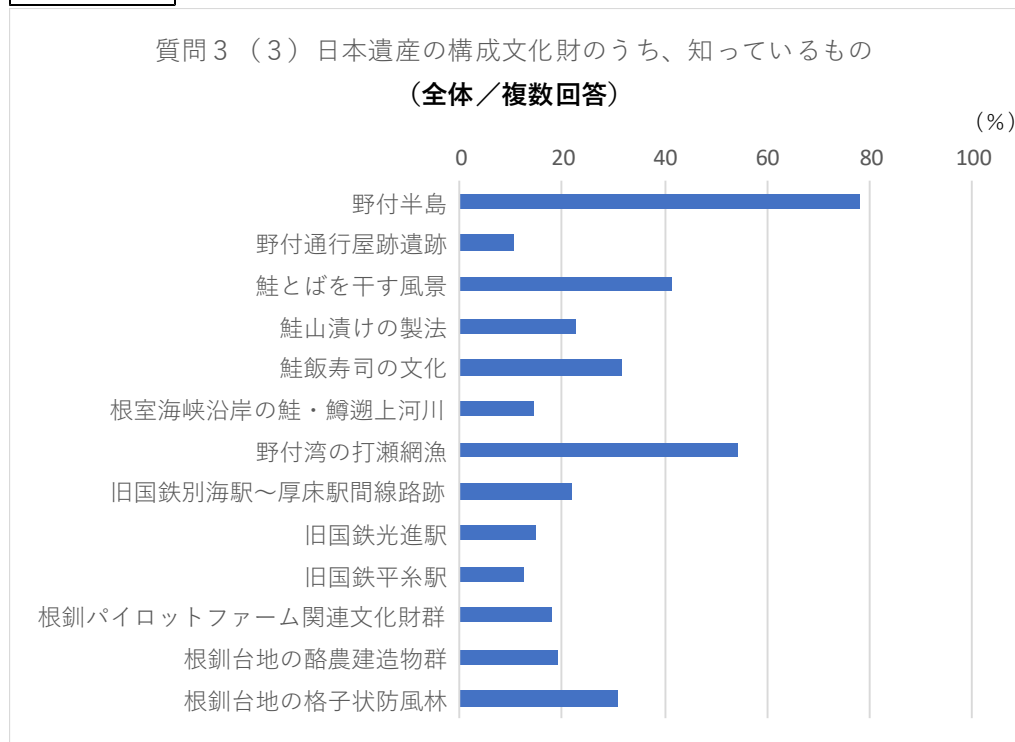
別海町歴史文化遺産の認知度について、全体では「風蓮湖の氷下待ち網漁」が最も多く、次いで「旧陸軍計根別第一飛行場 1 号有蓋掩体」、「別海音頭」、「旧国鉄標津線上春別駅跡」の順になっています。

性別で比べると「別海音頭」は女性の回答率が高く、「在日米軍偵察爆撃機 RB29 プロペラブレード」、「旧陸軍計根別第一飛行場 1 号有蓋掩体」は男性の回答率が高くなっています。年齢（3 区分）で比べると、ほとんどの項目で 60・70 代以上の回答率が最も高くなっていますが、「第一次伊能忠敬測量隊最東端測量の地」は 40・50 代が最も高くなっています。居住地区（4 区分）で比べると、「風蓮湖の氷下待ち網漁」は東部（海岸部）の回答率が 7 割を超えています。出身地で比べると、ほとんどの項目で「生まれてからずっと別海町」の回答率が最も高くなっていますが、「第一次伊能忠敬測量隊最東端測量の地」は「生まれてからずっと別海町」の回答率が低くなっています。



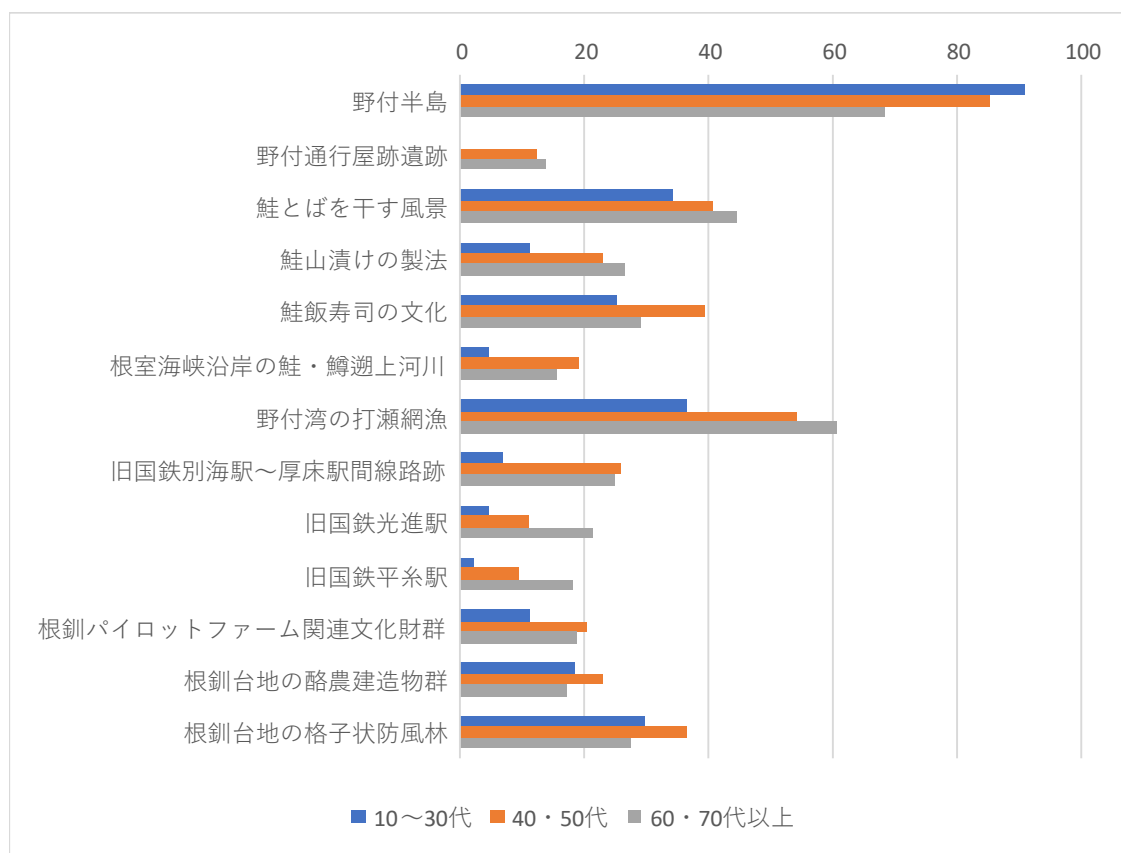
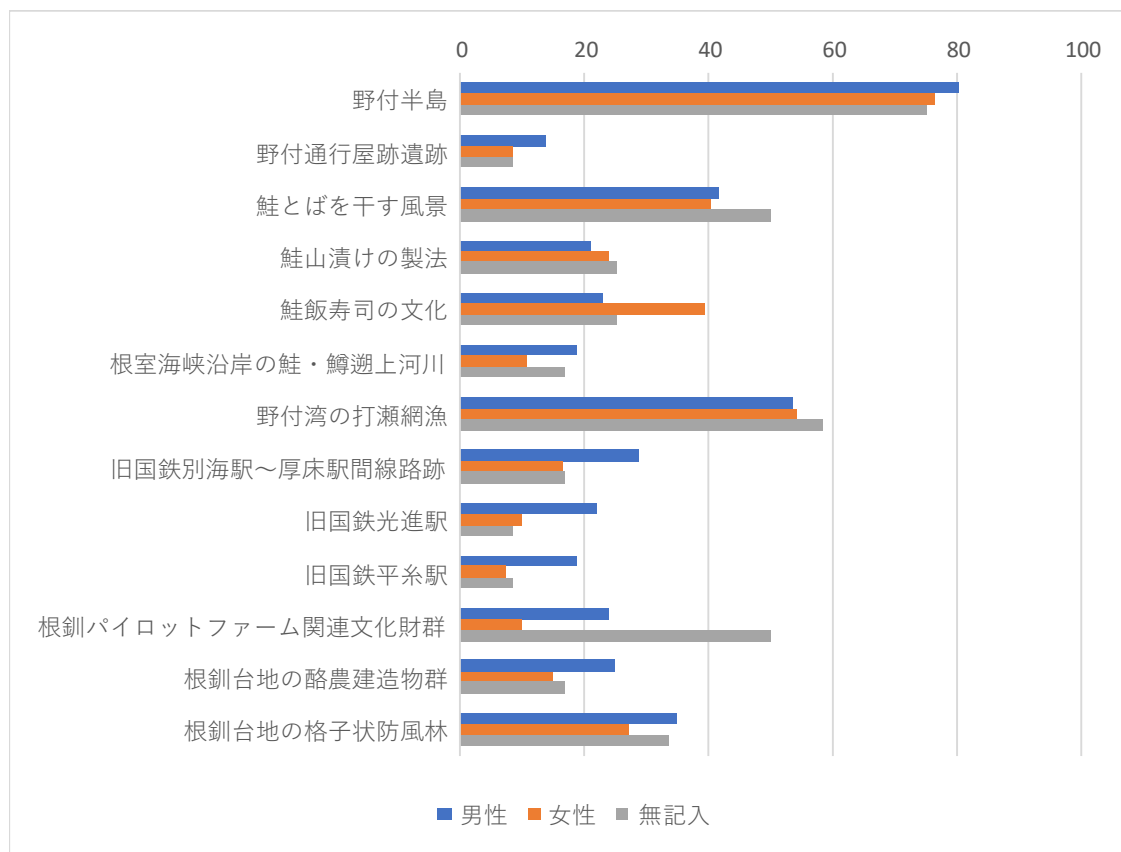


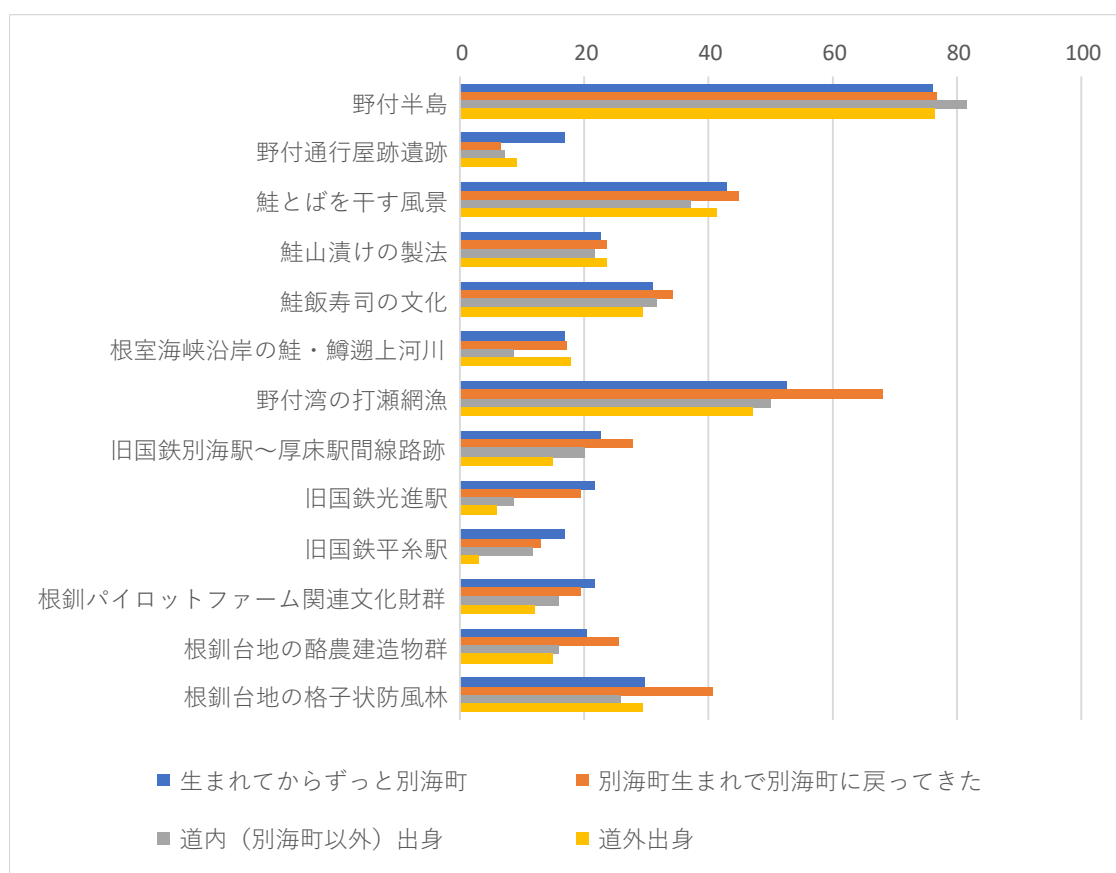
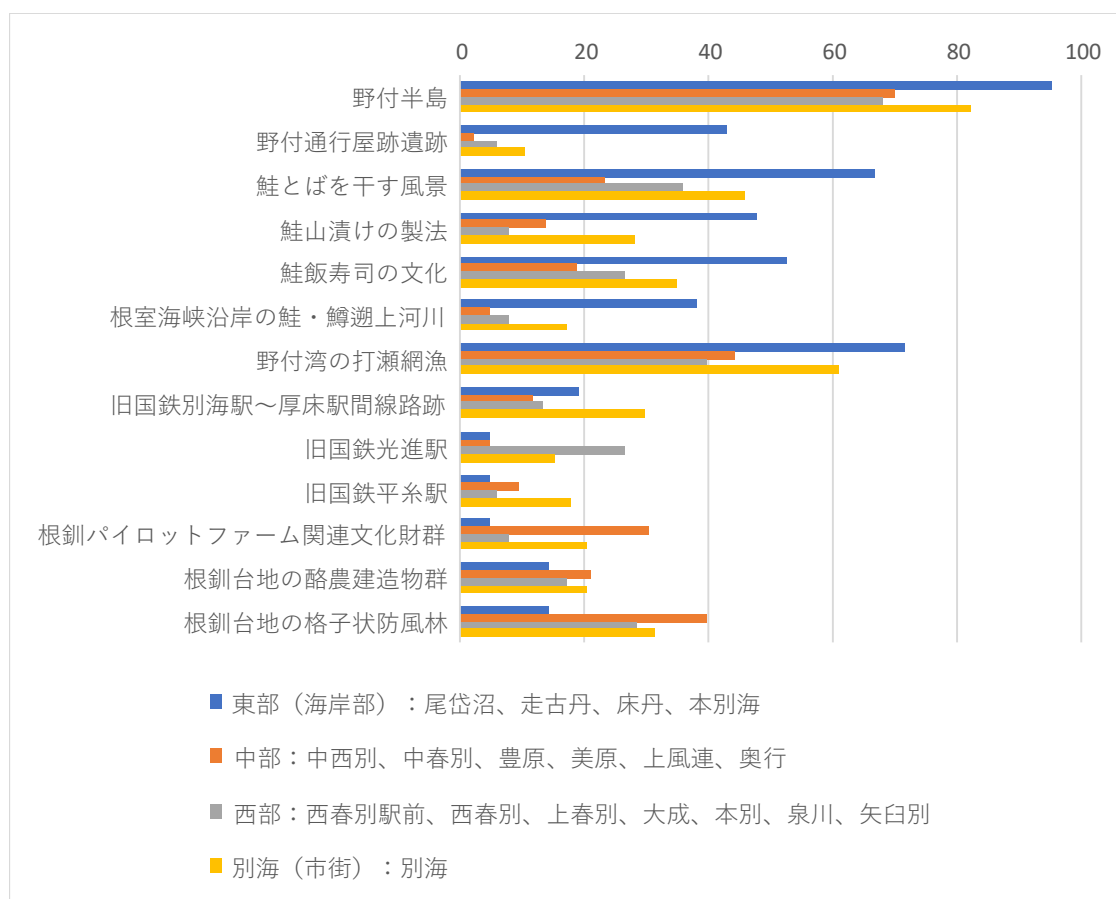
質問 3 (3)



日本遺産の構成文化財の認知度について、全体では「野付半島」が最も多く、次いで「野付湾の打瀬網漁」、「鮭とばを干す風景」、「鮭飯寿司の文化」の順になっています。

性別で比べると「鮭飯寿司の文化」は女性の回答率が高く、「根釧パイロットファーム関連文化財群」は男性の回答率が高くなっています。年齢（3区分）で比べると、「野付半島」は10～30代の回答率が最も高く9割を超えています。居住地区（4区分）で比べると、「野付半島」や「野付通行屋跡遺跡」、「野付湾の打瀬網漁」などの海岸部に属する項目は、東部（海岸部）の回答率が高くなっています。一方で「根釧パイロットファーム関連文化財群」や「根釧台地の格子状防風林」などの内陸に属する項目は、中部の回答率が高くなっています。出身地で比べると、「野付通行屋跡遺跡」は「生まれてからずっと別海町」の回答率が高く、「野付湾の打瀬網漁」は「別海町生まれで別海町に戻ってきた」の回答率が高くなっています。





4. 将来残したい別海のおたから（質問4）

質問 4

妻が尾岱沼出身で、小学校の頃、校庭にある千島桜を囲んで全学年でお花見しながらお昼を食べたのを教えてくれました。当時は、春には花見、夏には遊覧船に乗って潮干狩り、秋には学校に植えたイモを掘る収穫祭、冬には道の駅まで往復して白鳥にエサをやる白鳥遠足が、それぞれの四季であったと言っていました。今では無くなった行事もあるみたいですが、学校側で地域にふれあえる機会があるのはとても良い事だと思います。時代が移り行く中、残せる事柄は後世にもしっかり伝えられたらと、自分の子供たちにもたまに思い出話などしていきたいと思いました。
牛乳豆腐、四角い太陽、野鳥飛来の聖地（野付半島）
旧西別神社祠、何か残していったらいいかなーと感じた。
酪農、漁業の仕事、風景、地域の特産物
開南地区の「転車台」です。これは国指定レベルかと思います。
過去・現在の比較が出来る写真・フィルムはお宝と思います。
郷土資料館となっている建物は、私が通った小学校の建物でもあります。雪印乳業内の工場の一部分の古い建物も、私が子供の頃からあると思います。古くからあるものがなくなってしまうのは、本当に淋しいです。
昔と今の町の行事、風景などを記録した写真、みなくるは成人式を行った思い出のある場所なので残したい。
西別川の木が雪が木にかぶさった後キラキラしてキレイな時がある。
牛乳
新酪展望台の見晴しがとてもキレイでした。（晴れている時の地平線も）
野付半島の風景、龍神岬の灯台が海の中になっている。龍神の一本松。野付の海の幸の食べ物（ホタテ、さけ）
別添資料「別海のおたから紹介」素晴らしいです。このまま全部将来残したい別海のおたからです。
祭り
小学生の頃、先生や大人には「危ないので行ってはダメ」と言われていた、中央小学校校庭から南側にある、池や湿地帯。校内のクラブ活動、自然科学クラブ（だったような…）で、先生同行で奥の奥、これ以上はダメだと言う所まで行った時、目の前に広がる湿地と湿地を囲む様に生える白樺等の木々に感動したのを覚えています。湿地に咲く花が何かとか、解らない年頃でしたが、キレイでした。今では熊が住んでいたりするのかも知れない。この風景は、お宝だと思います。
別海市内がまだ砂利道路だった頃のお祭りが盛大だったと聞いています。又、飲食店が多く繁盛していた。ずいぶん昔に風蓮湖周辺に小魚の番屋（チカなど）があったと聞いています。調べる価値が有ると思います。湖内のイサダ取りも。
放牧の牛の群れている風景
別海のおたからには色々あると思うが～その啓蒙活動をしっかりお願いしたい。そのためには、まず、学校教育において（教師、児童、生徒のための）、企業教育において（新人職員研修への位置づけ←JA・役場職員は特にしっかりと）、町内活動において（啓蒙活動を積極的に）、ガイドの育成（一般人、専門家、高校生等）、環境整備の充実（予算付け、ボランティアの積極的な活動）
掘り起こせば新たなものがまだまだ在ると思います。たとえばですが、この地の特殊土

壤改良の客土とか、酪農の父と言われる佐上北海道庁長官像とか。形ある物だけでなく記憶の中から消えて行くものを残し後世の代に遺すことが大事ではないでしょうか。
昔のサイロ、牛舎等
浜の湯をきれいにしに残して欲しい。
小野沼公園
・美原小学校の自然公園（学校の裏に昔の PTA の人達で作った遊び場、今はもうない？） ・美原小学校 3 世代交流そば学習（そばを栽培して、脱穀、製粉、そば打ち、食べるということを毎年、老人会、PTA が協力してやっていました。やっている時は大変だったけど、なくなってみるとよい取り組みだったと思います。） ・校庭のスケートリンク（毎年、何もない校庭にお父さん方がリンクを造って維持していました。今となっては学校もないですし、気候的にも難しいと思いますが、すごい技術だと思いました。）
馬頭観音、別海の食材を使った料理、美しい景色、湿原（ヤチ）
トドワラ・ナラワラの保護
・昔のサイロ、建物　・伝統芸能
映像や音声等、町民の皆さんが持っている記録媒体をお借りし、デジタルアーカイブとして残すとよいと思います。
・四季の野付半島、・道（海にはさまれた海中道路のような道）、・玄関さきの高山植物、・野付から見る国後、知床連山、・野付から見る羅臼のイカ釣船の光
・西春別駅前役場支所の柏の木、・西春別駅前鉄道公園
牛乳の無料配布（条件有）ありがたいです。・カヌーやサップの体験
古い建物（駅前記念館）、自衛隊西官舎付近にある観音像（できた経緯説明文があるというと思う。）
殖民軌道の跡、学校、集乳所など
野付小唄の踊り、和太鼓
西別川
将来に残したい別海のおたからは別海と中標津の間で走っていた線路のあとちです。
南矢白別地区にある馬頭観音。毎年、馬頭観音堂の前でお祭りがあり、地区の方々に守っている事が良く分かる日だと思っています。
新鮮な海の幸、牛乳、おいしい（気がする）水道水
春別川せせらぎロード
色々残してある郷土資料館です。
私事ですが 20 数年この薫製を作っておりますが、昨年でやめる予定でいます。他で余り見る事の出来ない新巻薫製ですので、継承か？保存してもらいたいと考えていますが？（※「別海産 浜育ち薫製」の写真付き資料あり）
中西別地区 国道 243 号沿いの放牧風景、放牧している酪農家は北海道で 8% しかいない。
大わらじ祭り
別海の食材を使った料理
約 60、61 年前に村立西別小学校に校歌が出来ました。当時の 6 年生男女 15～20 名位の人数でセントラル劇場（映画館）発表会、後日校庭で陸上自衛隊・音楽隊の演奏で校歌を録音した記憶があります。（数年後に運動会の時、校舎放送室から流れて来たのを一度聞いてます。）学校統合や校舎移転等、現在の校歌も変わっています。当時のあの録音されたテープはどこかに保存されているのでしょうか。

旧奥行臼駅通所、野付湾の打瀬網漁、伊能忠敬測量隊最東端測量の地、パイロットファーム時代の牛舎、昔のサイロ
茨散沼：昔、山菜採りに茨散沼近辺に行っていました。当時はあまり気にしてはいなかったのですが、今想えば静かで自然豊かで美しい沼だった。バラいちごが自生していて、口に入れたものでした。甘ずっぱい味でした。
野付半島から見たオホーツク海。国後島の山々はすごくきれいな景色でした！ 国道243のずーっとまっすぐな道は牧草畑や所々にいるホルスタインは北海道らしい景色だと思います。べっかい牛乳おいしい。
上春別神社横に忠魂碑が有るのです。1度見にきて下さい。年一度、5月ころに上春別神社祭の時に一緒に祭ってます。むかし会長がいたのです。今は亡くなってわかりません。
西別川、ふるさとの森
北海シマエビ、牛乳
昔のサイロ、古い建物、昔の町並みや行事、デンプン工場があった場所、太鼓や踊りなどの伝統芸能、別海の食材を使った料理、川名、橋名
中春別市街にあった国鉄春別駅、黒百合川（小野沼公園から春別川に流れる川）
・べっかい氷平線、・べっかいの牛乳屋さん、・産業祭、・尾岱沼潮干狩りフェスティバル
デンプン工場跡（春別川、黄金橋付近）
“おたから”になるかわかりませんが、『光進小中学校』がもう使われていないのがもったいないと思います。建物も立派ですし、“学校”という利用じゃなくても、何か地域を活性化させるためにならないかなー？とっていました。
野付半島
昔の町並みや行事などしごと
牛舎の独特の屋根の形やサイロとてもステキです。2年前の牛年の年賀状にこの様な絵を描き送りました。（イラスト貼付あり）
別海町に移住し、まだ4年しか経ってないので、詳しくわかりません。
・よく分かりませんが、川名、橋名など年代の変化毎に調べていただきたい。
今はあまり使われない漁具・生活用具が倉庫にあります。イクラづくりの秘伝書が家にあります。（そのとおりにつくるとかなり塩っぱいらしいです。）
奥行臼の国道沿のお地藏様。元戸春別にあった護国寺の住職さんの説教にある、お地藏様兼金牧場の一説です。
打瀬船、桜、トドワラ、樹木
野付湾内の潮切などの名所や呼名など
うたで「別海行進曲」と言うのがあったはず。たしか『いいきだ ちからだ ののうただ〜』と言うせりふの始まりではじまるうたがあったはずです。知っている人に聞いてください。小学校か中学校時代に聞いたきおくがあります。
四角い太陽
・豊かな自然（酪農風景、漁業の様子、打瀬船など）、・その中で得た食品を使った料理など
・町としては日本で3番目に広い面積、優しい住民、「少年少女ふれあいの翼」、パイロットマラソン、ホタテバーガー、人口よりも多い牛、トドワラ、打瀬網漁、ふゆとぴあの雪像とすべり台
牛乳豆腐。お祭りで別海音頭を皆で行進？しながら踊りました。トバ等を頂きました。鮭の飯寿司・大根のカスヅケなどを母からよくもらって食べました。昔は生の筋子をいくら正油漬けにしたりして美味しく頂きました。

生まれ育ちではないので詳しくわかりません。老人の話で、昔はどこまでも歩いたものだ、というのを聞いてびっくりしたことがあります。人伝てですが、例えば別海～中標津を普通に往復してた、とか。
西春別駅前～西春別（約 3.5km）R243 号道にある桜並木道の桜を継続管理し後世に残してほしい。
公民館で以前、古い市街地図が掲示されていてとても興味深かったです。子どもの頃は、西春別駅前西町に集乳所というのでしょうか、まだ建物が残っていて、親から情報を得たり、何年か前まで中西別にもそういう建物が残っていましたが、いつの間になくなっていて、「ここも…」と思ったりしていました。祖父母の家にあった開拓時代の道具も、郷土資料館などで見たものと同じような物があったな、となつかしく思い出します。
別紙(問4) ○記憶 簡易軌道風蓮線に乗車(昭和 38 年春)＜祖母との思い出＞…私は中学 1 年生(男) 西別駅まで国鉄バスに揺られ、列車で西別駅から奥行白駅まで、ここから簡易軌道に乗り替え、上風連東部分岐点下車。ここから雪印集乳所まで 4 k m 泥道を歩き、やっと着いたのは夕日が沈むところで心細かった懐かしい思い出です。2021 年秋、奥行散策デイに軌道車の座席に座ってみました。当時座った左側の真中附近座席に座ったのでした。60 年前がついこの前のようによみがえってきました。感慨深いものがありました(男性車掌さん「次は富山…」とゆった声が今も耳に…) 建物・軌道車など関連施設の永久保存を願うものです。良い経験でき有難うございます。
殖民軌道跡
産業祭等で行う馬レース(レース場)
狐、鶴、人間の生活音のない静かな時間の流れ
残したいと思うほど、よく分かっていないです。
別海出身ではないので何もわからないのですが別海のおたから紹介を見て行ってみたい、文化財を目でみたいとおもいました。私は歴史はすきで記念碑が気になるので見つけたら見ています。野付の千島桜はこの角度からみてもキレイにみえてとてもみごたえがあります。
中西別市街の中にある軌道が走っていた横に古い昭和初期に建てたとされる倉庫があります。(別海町歴史文化遺産に認定をお願いします。) 問い合わせ(民部まで) ※携帯番号記載あり
七夕まつりも盆踊りなどもなつかしい
食文化の保存(映像にして残す)、・いずし、鮭ルイベ、コマイルイベ等、・カレイの刺身(さばき方)
第 1 次産業が今はあまり良くないのでやはり町全体が活気があまりないように思います。私のいる所もそうです。
鉄道記念公園
昔のサイロ、古い建物、山菜が採れるヤチ。別海町の料理なのか不明ですがだんご汁。具はいもだんごに大根やにんじんを入れて牛乳で煮込むかんじです。汁が牛乳。それでいもだんごがそばかき(そばだんご)になるのもありました。母が作ってた汁物です。
西別川、然内川(イトウ生息川)
大成コミュニティセンターの敷地内にあるナラの大木。推定 200 年以上(※別添で写真あり)
パイロットファーム時代の牛舎、昔のサイロ、古い建物、昔の町並みや行事などを撮影した写真・フィルム・ビデオテープ、殖民軌道の跡、商店・学校・神社・集乳所・デンブン工場などがあった場所／古いものをただ残すのではなく、きれいな形(美観)として残すことが大事だと思う。きれいな形でなければ、宝ではなくただの廃墟、ゴミになってしまうと思う。

古い建物、野付の千島桜などの天然記念物、古文書や古い写真
わからない
地域の人々が行ったイベント。活発に行えていた時には、西別川の川くだり、巨大クリスマスツリー、長ぐつホッケーなど子供たちを楽しませるイベントがたくさんありました。行うにあたって使用した物も記録として残してほしい。

5. 町外の人に見てもらいたい別海のおたから（質問5）

質問5

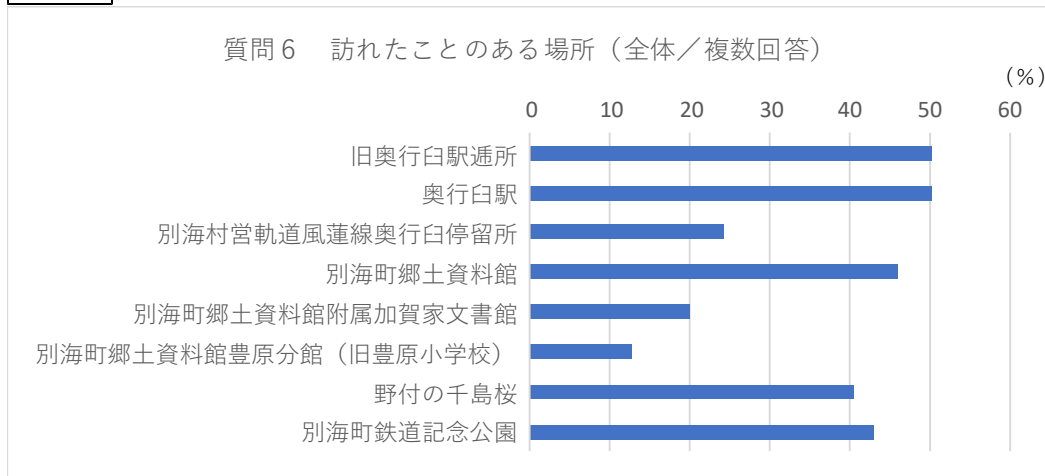
夕日と朝日
冬、2月頃の朝 3:30～4:30、尾岱沼の組合から沖の方へ一直線に並んで走るホタテ漁の船を見てもらいたいです。明け方に点々とまっすぐ連なる光は圧巻です。冬で空気が澄んでいるので、光もキレイに浮かんでいて感動しました。
郷土資料館、ネイチャーセンター
酪農、漁業の仕事、風景、地域の特産物
町外の方には野付半島及びドドワラ（今は手前のナラワラの方が風情あるけど）が人気あります。トバや鮭の山漬けなどももっと広めて良いのでは？
上記同様
本州目線なら雄大さ。広い町内の歴史を義務教育中に視察（遠足等）を。
雄大な牧草地や、きれいな海の景色などの自然です。
四角い太陽
うしのかんばん、うしおうだんのかんばん
牛
大草原と格子状防風林の風景
ところどころにある地平線、野鳥の種類や数
ヤウシュベツ川河口の日の出・日の入りを含む風景。北海しまえびのおどり喰い
野付半島の景色
野付半島、打瀬網漁、根釧台地酪農建造物群
別海の自然とおたからの一体感をもった活動を推進してほしい。他、人材育成・予算付けもしっかり！
野付半島の砂嘴（日本一）の状態とか。
放牧酪農
新酪農村展望台からの景色
おいしい食材、特に海産物
野付の千島桜（資料の紹介写真がきれいだったので、訪ねてみたいと思いました）
中学校の地理の教科書に載っていた床丹地区のパイロットファームの写真や風景 →当時の全国の中学生は、この写真をみています。（質問4と同じです）
四角い太陽、雨氷
旧奥行白駅逦所

旧奥行白駅通所
・海から登る太陽、・秋の南中高度（太陽）の低さ、・ホタテ船団の出航、・野付湾内（カヤック）、・当帆・トビカリ・春別川の蛇行
野付半島
まだわかりません。
西別川
古いたてももの
放牧されている牛や草時期の畑（→走っているトラクターや転がっているロール）
マンモス、庁舎前の桜の木
景色
打瀬網漁、放牧風景
農機具
ロマンのポークチャップ
牧草地、牛、牛乳やアイスクリーム等乳製品工場見学、牧場見学、水産加工工場見学
トドワラですね。どんどん風化して、消えてしまいそうな風景なので、今のうちに見てもらいたいですね。野付湾の帆船、帆を上げての漁でホッカイシマエビを採る。生のエビを味わってもらいたい。
古い鉄道の線路 厚床から別海本町
酪農建造物、根釧台地のドローンからみた風景
酪農風景
野付半島
鮭とばを干す風景
野付半島、野付湾の打瀬網漁
・野付半島、・べつかいの牛乳屋さん
酪農にたずさわっているので、広い牧草地やかわいい牛、のどかな風景を見てもらいたいです。
野付半島、打瀬網漁、ミルクロード、酪農の風景
特に関係ない事ではあるが、別海町に来た時に春の桜の木が多いのがとてもキレイだなと、いつも、春になったら思います。あと、キラクとかとても興味深い。
別海町にチーズフォンチキン
11～12月頃の大地に沈む夕日
・野鳥と野の花もたくさん種類がみられる。なので、フォトスポットはたくさんある。・ブラックアウトの時、星がびっくりするほどきれいだった。
野付湾と防風林の航空写真
・野付半島、・奥行白駅通
最東端測量地、野付半島
・野付半島、・トドワラ、ナラワラ
食文化だと思います。飯寿司や牛乳豆腐、にしん漬等、昔からの伝統的な作り方等、ミナクルで料理の講習会なんかあれば是非参加してみたいです。
・食べものおいしいので食べに来てほしい。・鉄道の歴史が好きな人たちに来てもらい

たい。
これがと言う物ありませんが、これにのっているものは、守っていった方がいいと思う。 別海町、尾岱沼にいますかぎり。
別紙(問5) 日程・時間的な制約があり、やはり代表的なものにならざるを得ないと思います。 観光兼ねてとなると、やはり「野付半島」、奥行臼駅通所・村営軌道車一連、新酪展望台、勿論郷土資料館観覧を含むなどに限られると思います。 ○ 何気ない牧場の風景(道路から見える、壮大さを実感、子牛への乳やり体験…例 ○ 何気ない海の風景(道路から見える、壮大さを実感、水揚げ/市場見学ツアー…例
建物のない風景 ←書いては見ましたが、北海道の田舎だからかもしれません。
野付半島
デマンドタクシー
旧奥行臼駅通所、奥行臼駅、別海村営軌道風蓮線奥行臼停留所、別海町郷土資料館、別海町郷土資料館豊原分館(旧豊原小学校)、別海町鉄道記念公園
打瀬船、野付半島
千島桜、野付半島
旧奥行臼駅通所、野付半島
別海町郷土資料館の展示資料、加賀家資料館の展示資料
・野付通行屋跡遺跡 ・風蓮湖の氷下待ち網漁 ・野付湾の打瀬網漁 ・根釧パイロットファーム関連文化財群 ・加賀家文書
別海町の広さ、野付半島から見える北方領土(近さ)、牛のいる風景、雪で真っ白くなった大地の風景
野付湾の打瀬網漁、旧柏野尋常小学校奉安殿
野付半島
地域のお祭りや行事
野付半島
自然、野付半島
あったかい町民、大自然、おいしい牛乳、おいしい食材、海産物

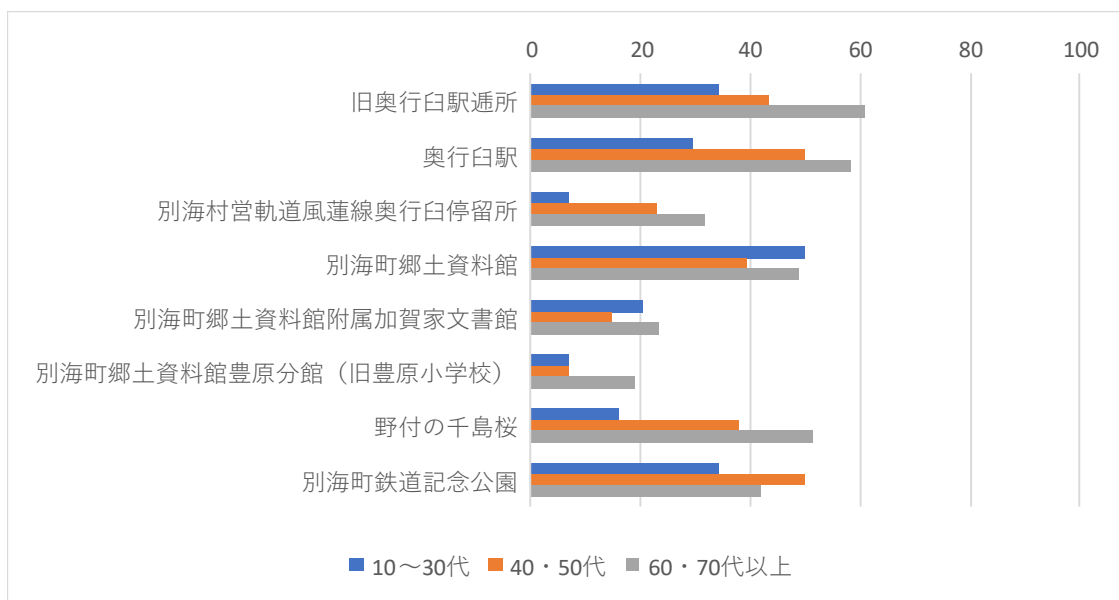
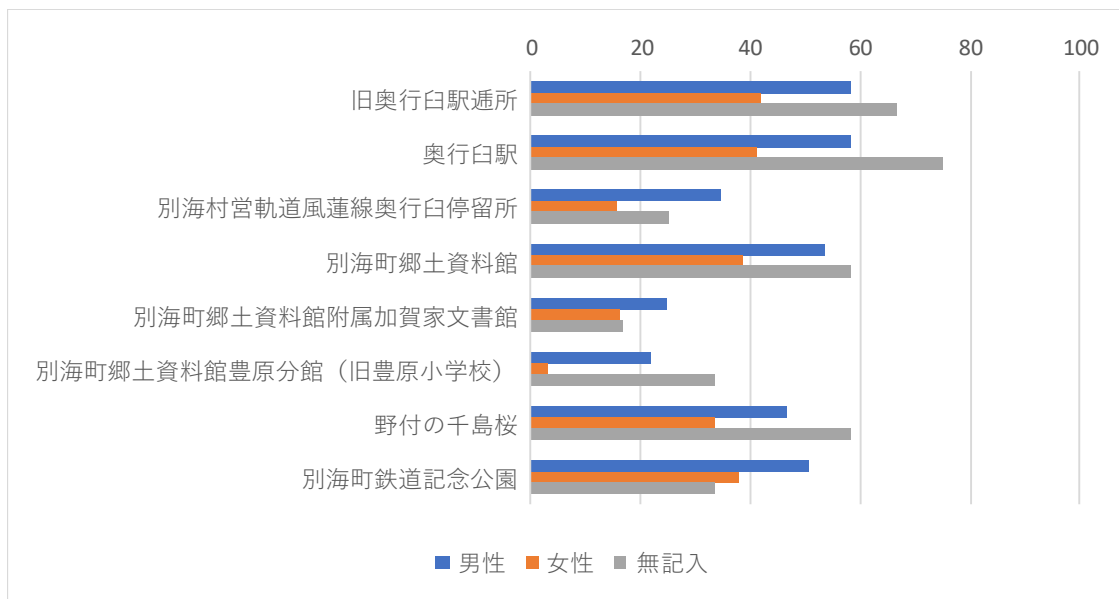
6. 訪れたことのある場所（質問6）

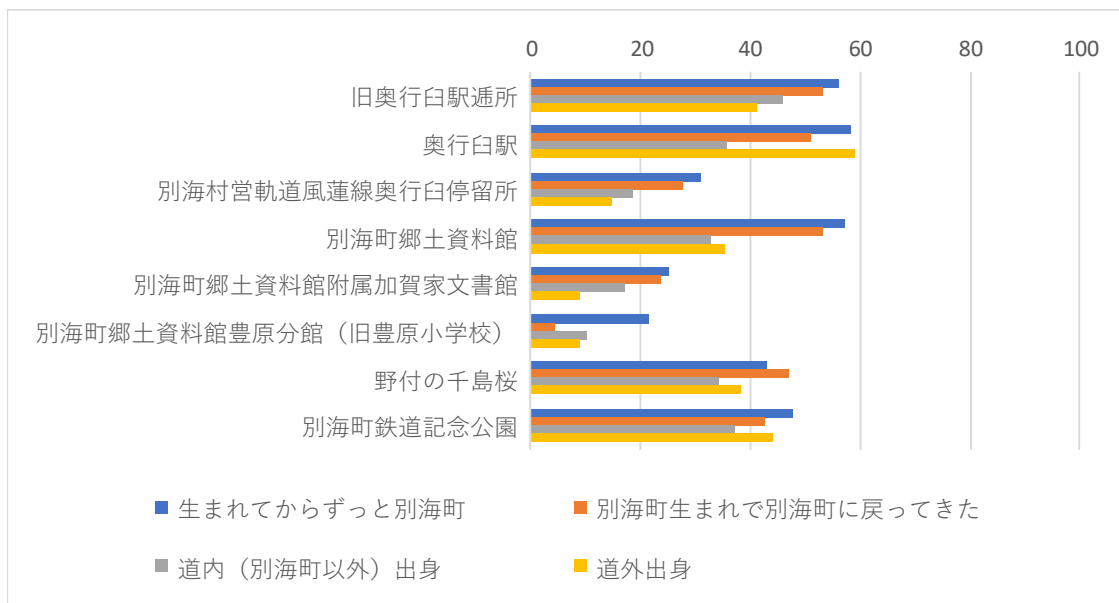
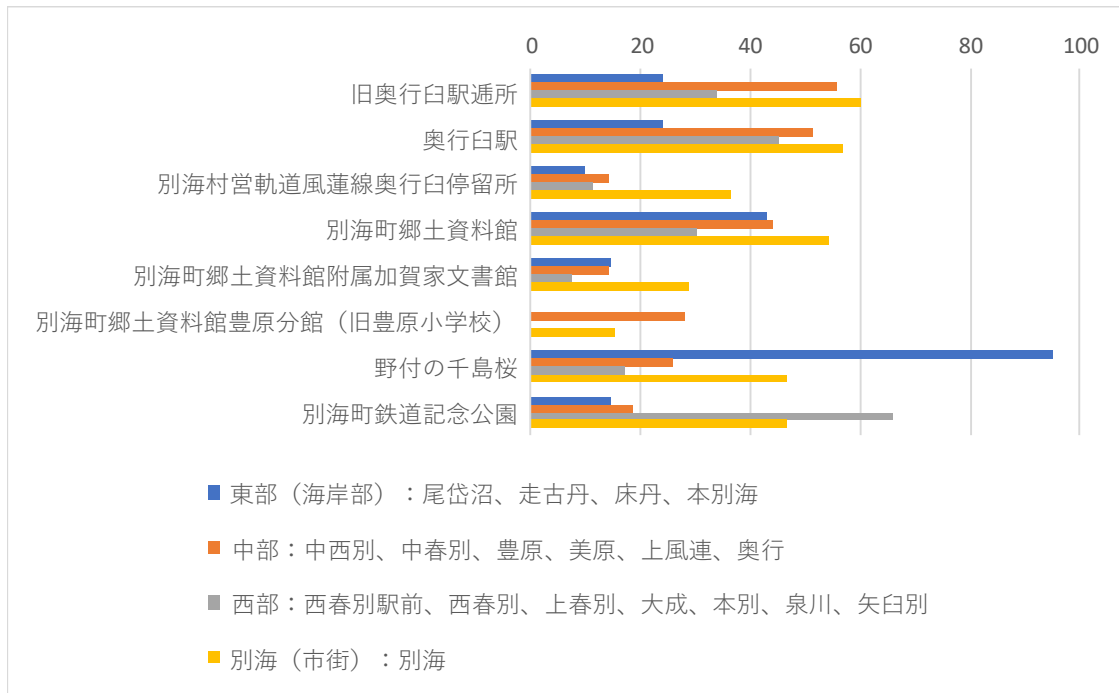
質問 6



訪れたことのある場所について、全体では「旧奥行臼駅通所」と「奥行臼駅」が同数で最も多く、次いで「別海町郷土資料館」、「別海町鉄道記念公園」、「野付の千島桜」の順になっています。

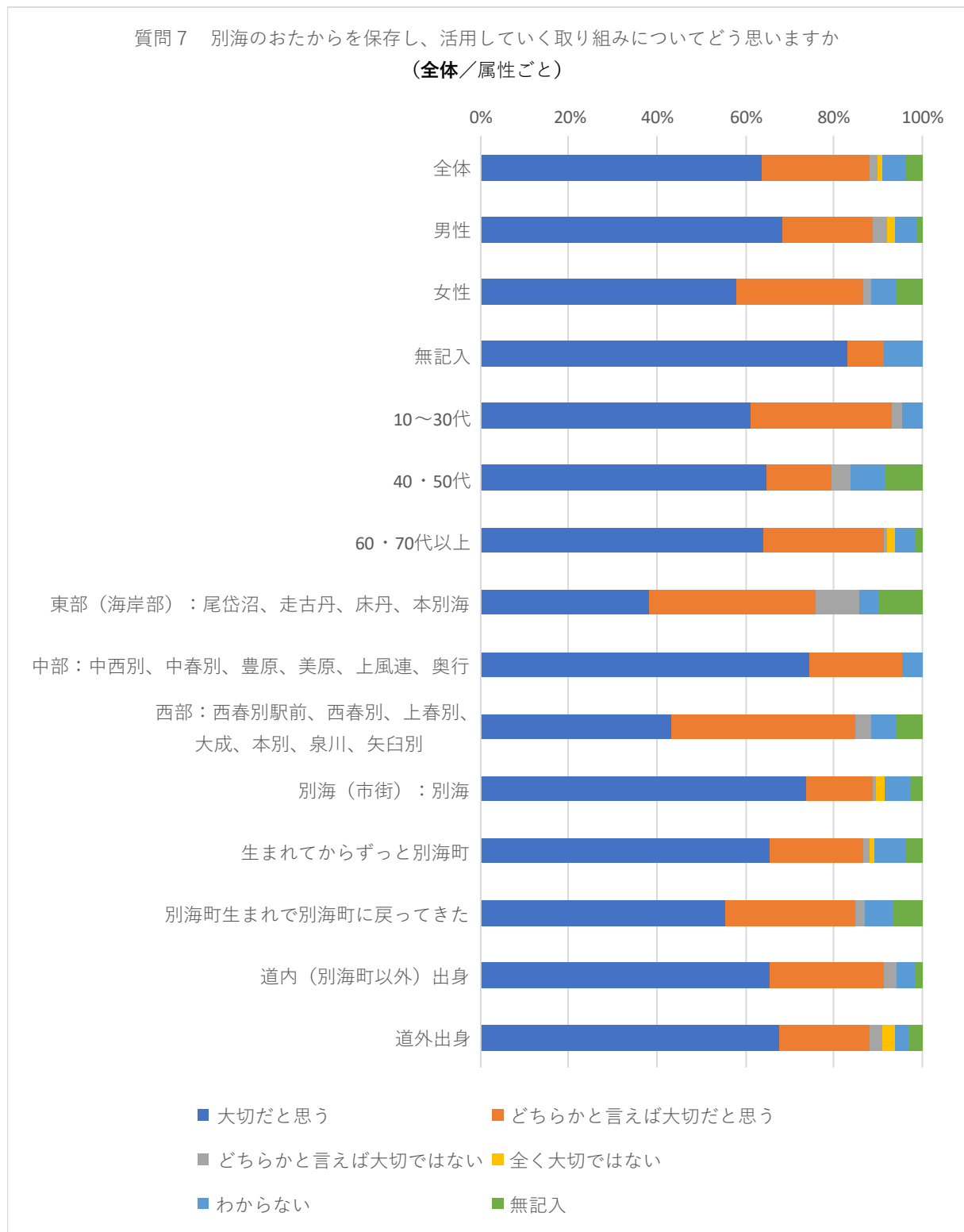
性別で比べると「別海町郷土資料館豊原分館（旧豊原小学校）」は女性の回答率が低くなっています。年齢（3区分）で比べると、ほとんどの項目で60・70代以上の回答率が最も高くなっていますが、「別海町郷土資料館」は10～30代の回答率が最も高くなっています。居住地区（4区分）で比べると、「野付の千島桜」は東部（海岸部）で回答率が9割を超えています。「別海町鉄道記念公園」は西部の回答率が最も高くなっています。出身地で比べると、ほとんどの項目で「生まれてからずっと別海町」の回答率が最も高くなっていますが、「野付の千島桜」は「別海町生まれで別海町に戻ってきた」の回答率が最も高くなっています。





7. 別海のおたからの保存・活用について（質問7、8）

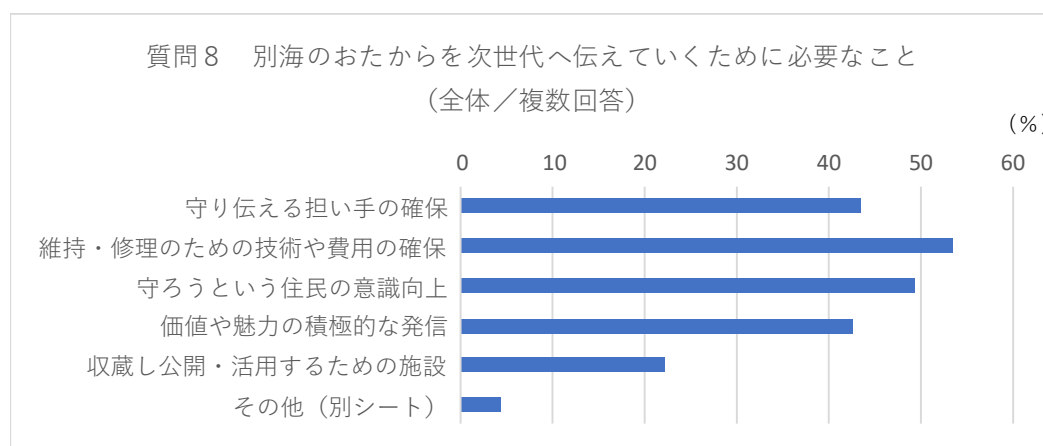
質問7



別海のおたからを保存し、活用していく取り組みについて、全体では「大切」、「どちらかと言えば大切」が8割を超えています。

性別で比べると「大切」、「どちらかと言えば大切」と答えた割合は女性のほうが若干、低くなっています。年齢（3区分）で比べると、「大切」、「どちらかと言えば大切」と答えた割合は40・50代が約8割なのに対して、10～30代と60・70代以上は9割を超えています。居住地区（4区分）で比べると、「大切」、「どちらかと言えば大切」と答えた割合は東部（海岸部）で低く8割を切っています。出身地で比べると、「大切」、「どちらかと言えば大切」と答えた割合は「別海町生まれで別海町に戻ってきた」がやや低くなっています。

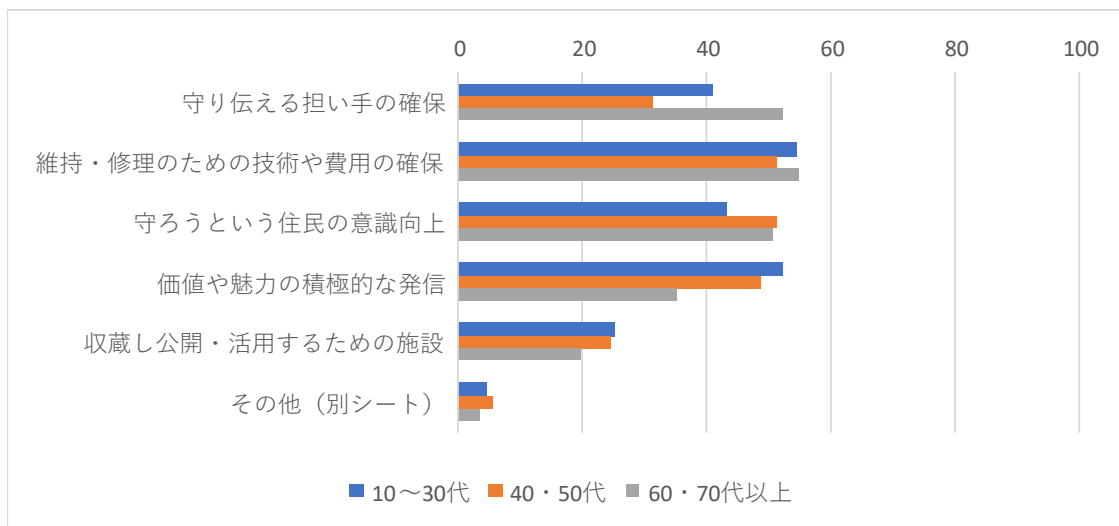
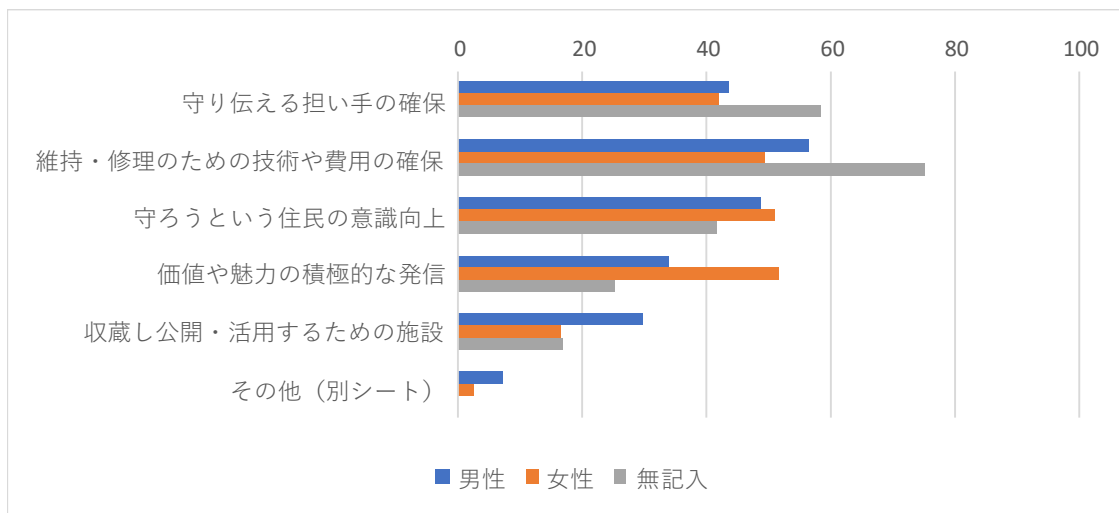
質問 8

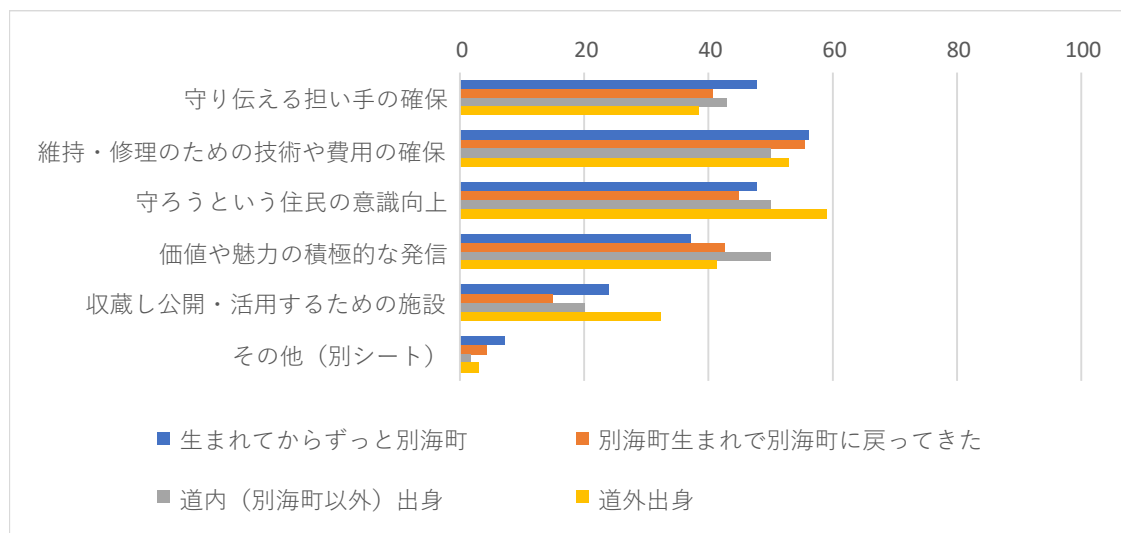
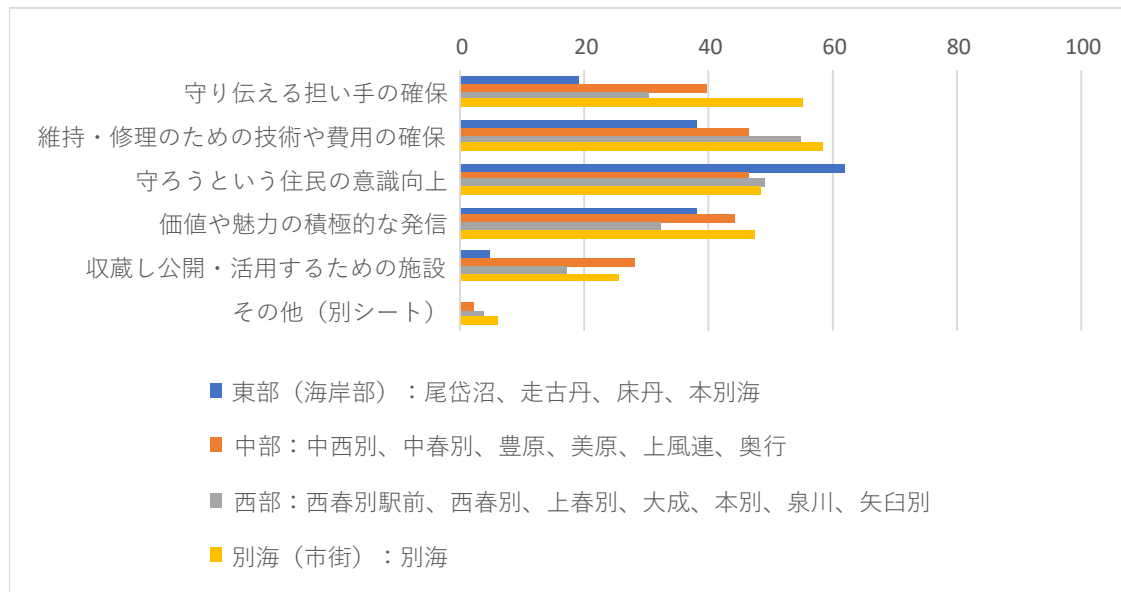


その他：地元学校での地域学習／収益になるかどうか／小・中・高等学校での教育による意識向上／必要とされるなら守り伝える事は大切だと思う。ですが、そもそも価値があるのかすらわからない。その維持・保存をして何になるのか。別海町がおたからになる様に新しい何かにチャレンジした方が良い／みなくるを使つての積極的な発信（大看板、映像放映他）／子どもに素晴らしさを伝える活動／郷土資料館の建替えをなるべく早い時期に

別海のおたからを次世代へ伝えていくために必要なことについて、全体では「維持・修理のための技術や費用の確保」が最も多く、次いで「守ろうという住民の意識向上」、「守り伝える担い手の確保」、「価値や魅力の積極的な発信」、「収蔵し公開・活用するための施設」の順になっています。

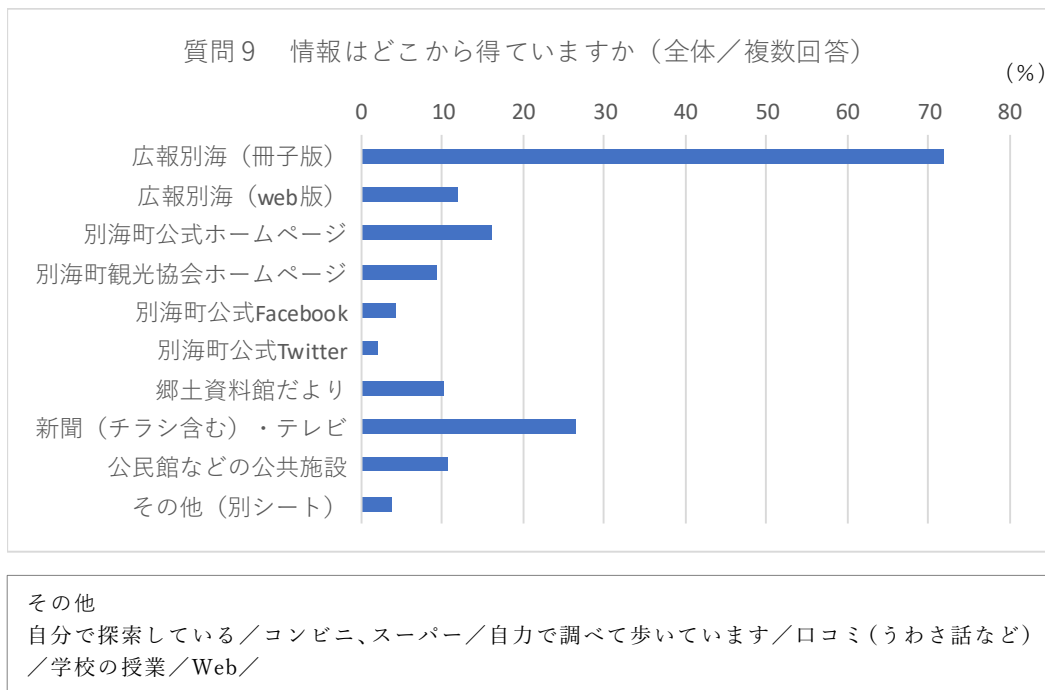
性別で比べると「価値や魅力の積極的な発信」は女性の回答率が高く、「収蔵し公開・活用するための施設」は男性の回答率が高くなっています。年齢（3区分）で比べると、「価値や魅力の積極的な発信」は10～30代の回答率が高く、60・70代以上の回答率が低くなっています。居住地区（4区分）で比べると、「守ろうという住民の意識向上」は東部（海岸部）の回答率が高くなっており、「守り伝える担い手の確保」は別海（市街）の回答率が高くなっています。出身地で比べると、「守ろうという住民の意識向上」は「道外出身」の回答率が高くなっています。





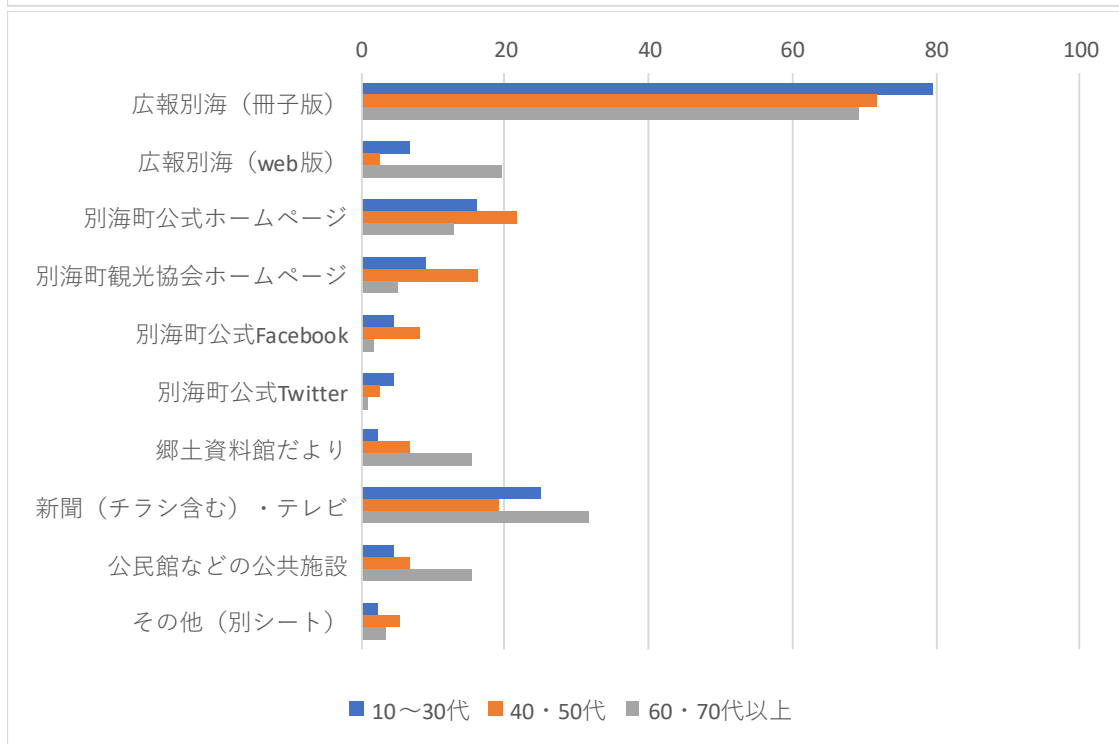
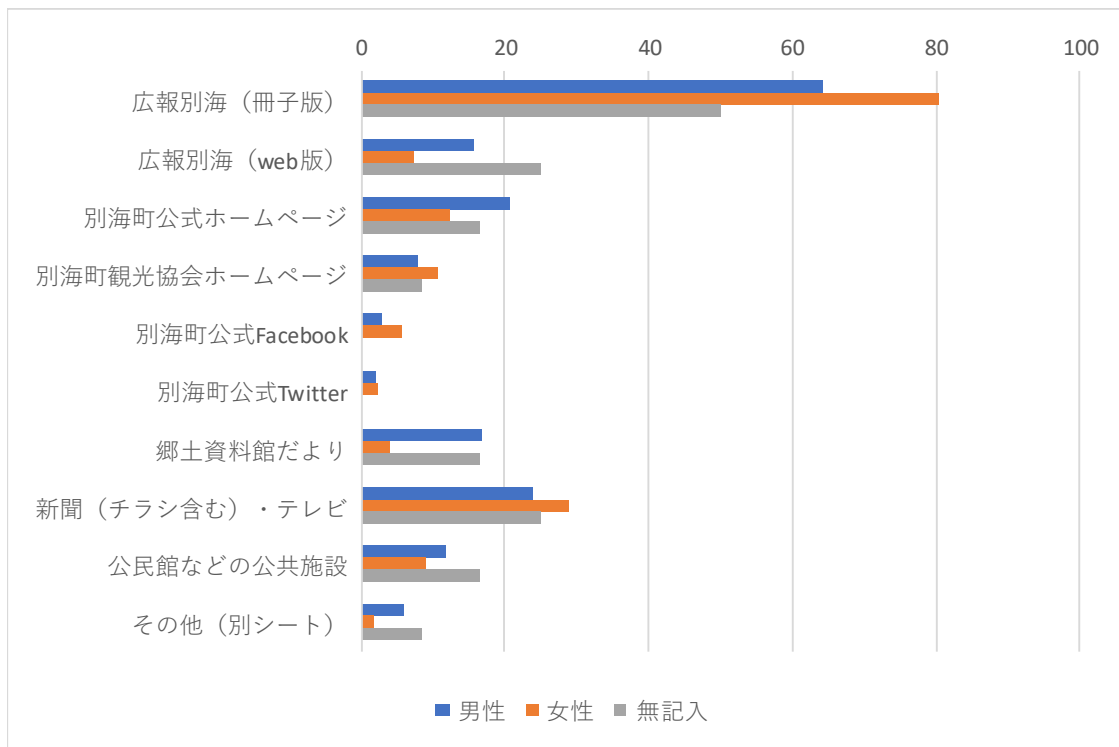
8. 情報収集の手段（質問9）

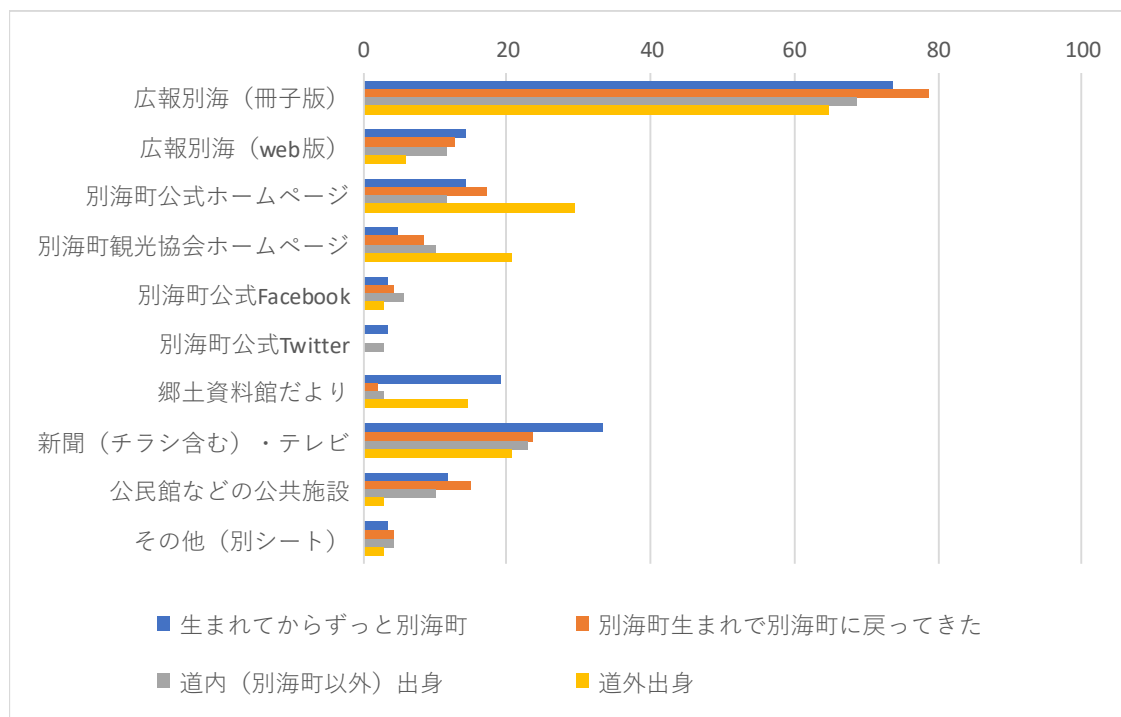
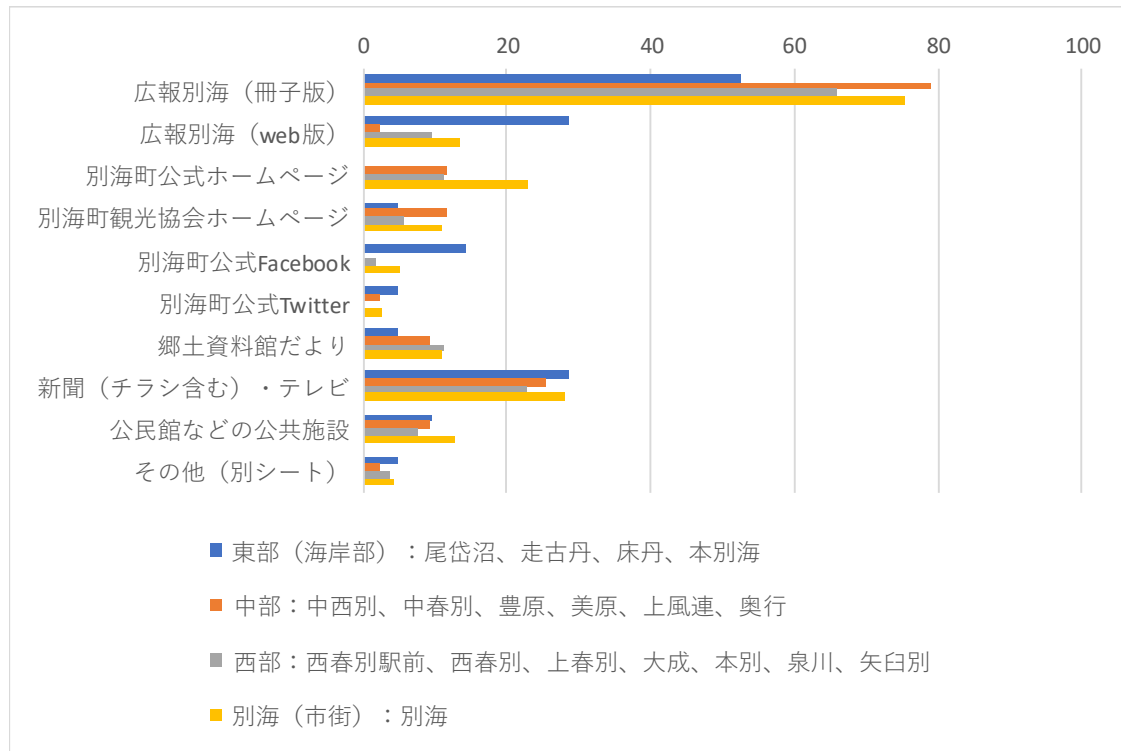
質問9



情報収集の手段について、全体では「広報別海（冊子版）」が最も多く、次いで「新聞（チラシ含む）・テレビ」、「別海町公式ホームページ」、「広報別海（web版）」の順になっています。

性別で比べると「広報別海（冊子版）」と「別海町公式 Facebook」、「別海町公式 Twitter」は女性の回答率が高く、「郷土資料館だより」は男性の回答率が高くなっています。年齢（3区分）で比べると、「別海町公式ホームページ」や「別海町観光協会ホームページ」、「別海町公式 Facebook」、「別海町公式 Twitter」は60・70代以上の回答率が低く、「郷土資料館だより」や「公民館などの公共施設」は10～30代の回答率が低くなっています。居住地区（4区分）で比べると、「別海町公式 Facebook」や「別海町公式 Twitter」は東部（海岸部）の回答率が高くなっています。出身地で比べると、「別海町公式ホームページ」や「別海町観光協会ホームページ」は「道外出身」の回答率が高く、「郷土資料館だより」は「生まれてからずっと別海町」の回答率が高くなっています。





9. その他、自由意見（質問 10）

質問 10

私の父は 92 才ですが、幼い頃からの西春別の様子について記憶が鮮明です。先日、協力隊の方がお見えになり、父の昔話を聞いてくださりました。参考になったかどうかはわかりませんが、父の記憶が伝えられ嬉しく思います。この様な機会を与えて頂きありがとうございました。
土地柄、町と町が離れていたり、山奥だったり交通面で気軽に行けないと頭で思ってしまった、足取りが重くなったりします（自分がそうなので…）。月 1 イベントなどで別海のおたからツアーみたいな事ができたら皆、行きやすくなるのでは？とふっと思いました。季節ごとに場所を変えて、その時季に合ったおたからを見に行く…とか楽しそうだなと思いました。
100 年、200 年スパンの長期的展望が必要だと思いますが、それだけ考えると現状がおぎなりになってしまうので、まずは 10 年、20 年という計画が必要ではないかと考えます。そのために、先人達の話や住民の中に埋もれている歴史的な物品を紹介し、住民を巻き込んだ運動にすることも選択肢のひとつであると思います。
子供の頃から意識にないと（大人からのアピール）興味深い分野では無いと思います。子供の頃から無意識の内に身近に学べる環境を。
何がおたからなのか不明。
別添の資料を見て、初めて知ったものが多数ありました。まずは、町民 1 人 1 人が大切さを実感する事が大切だと思います。今年は、全部を周ってみたいと思いました。
保存し、後継へ残すべき「おたから」ばかりに捉われず、古いものをどう現世に活かすべきかをきちんと論じられる人材を見極め、チームとして取りくみ、広く町民の賛同を得て、すすめていくとよいと考えます。老若男女を巻き込んですすめられるプロジェクトにならないと、「自分のもの」にならないと思っています。アンケートの機会を与えてくださって、ありがとうございました。
ごくろう様です。
私はおたからがまだまだ少ないように感じられます。特産物、加工食品もおたからに発展するのです。また、美しい景観等もおたからです。写真コンクール等をとおして、新しいおたから発見に期待したい。
特になし
スタンプラリーのようなかたちで、指定文化財等にいき、簡単なクイズと資料をはり、答えをかき、スタンプを押す（4～5箇所：西春駅前→上春→新酪展望台→奥行→野付）。全部集めたらりょうしくんの何かをプレゼントする。
別添資料「別海のおたから紹介」本当に素晴しかったです。古い写真を持っている方もいらっしゃるでしょうね。見たいです。「公開」だったり「体験」だったり、「スタンプラリー」だったりしてみたいです。（標津町で昨年取り組んでいた“謎解き”もよかったです。）昔の地図（鉄道地図や住宅地地図）も興味があります。郷土資料館にも多少展示されていますが、ソフトもハードも老朽化していますので、子どもたちや高齢者が使い易いようになっていくことを希望します。
二番煎じになってしまうかも知れないが、これらお宝を巡ると言うか、写真に収めて写真展を開いて、新しい魅力の発見にしてみるとかはいかがですか？町内外の写真を趣味にしている方やプロ等、問わずネットや TV の小さいコーナーとかでアナウンスをし、参加して頂き、そこから優秀賞や何か賞があっても良いし…。どうですかね…。

大変でしょうけど、先住民アイヌから和人へと伝わったものも沢山あるのでは？ないでしょうか。また、失なわれたものも沢山あるのでは？そういった物も歴史の事実として残していかなければいけないのでは？
別添の「別海おたから紹介」が同封されていました。この資料で色々な文化財がある事を知り、特に有形文化財などは初めて知る物がほとんどでした。でも、どこにあるのか住所や保管場所等が記載されておらず、残念です。QRコードはありましたが、どうせならこの紹介と一緒に情報をもう少し詳しく載せてほしかったです。
別海に移住してまだ1年ちょっとなので、もっと様々なおたからの見学したいのですが、こんなたくさんあったなんて知りませんでした。（このアンケートで知りました。）道外の家族や知人が遊びに来た時に紹介したいのですが、別海広くてどこに何があるのかわかりません…。人が集まる所に、マップ等設置したら、気軽にめぐりやすくなるかも知れません。北海道に旅行に来る身だった頃は、この大自然とキレイな空気を直接目で見て記憶に残したかったので、スマホとか通信手段はあえて使用しませんでした。（道外から）最近遊びに来た友達もそうで、スマホやパソコンを切り、非日常を味わいたいとの事でした。そういった人たちにも紹介できるような手段があれば！長文すみません。
別海町に移住して15年経ちますが、知らないものがほとんどでした。子どもに聞いても、社会見学でも行ったことがない、と言っていましたので、歴史教育に絡めて活用すると良いと思います。まずは、認知度を高めることが重要かと。
全国に売っている別海牛乳のパックの一面に写真をのせ説明もつけると、日本中で別海町に興味をもつ人が増え、旅行者もふえるのではないかと。
お役に立てなかったと思います。出かけるより、家で本を読んでいることの方が圧倒的に多いです。図書館は、従って、よく利用させてもらっています。その隣の資料館にも、実は行ってないです。すみません！
野付半島の砂嘴を整備しつつ守って行く取り組みに期待したい。
道内外からくる人達は自然を見にくる。その自然を見せようとするあまり木道を作ったり人工的な物が増え価値が下がる気がします。保存しながら観光資源にする必要があると思います。
無料でのツアー等あればいいと思います。
特になし
興味が全く無いのでわからない。「別海のおたから」誰が大切にしているのか？なぜ今なのかわからない。
・SNSによる発信（別海出身の著名人による発信）で、町内、町外とも認知度を高める。（例：YouTube/TikTok/Twitter） ・教育機関により若者の認知度向上。
良くわかりませんが、古い物を大切に保存する事はすばらしい事です。高齢に成ると見学会や勉強会に中々出席出来ません。それぞれの地域ごとに少しでも勉強や見学があれば老人クラブの方達と一緒に学びたいと思います。
別海町へ居住して20年になります。今回、別添の資料を送って頂き、文化財や文化遺産になっている場所などをはじめて知りました。機会があれば、訪ねてみたいと思います。又、別海へ来て下さる方へご紹介したいと思います。
「別海のおたから」ネーミングが良いですね。自然に別海のおたからを意識しますね。私的には別海の家産物（鮭・ホタテ・アサリ等）がお勧めでしたが、別海にはまだまだおたからがあることを再認識しました。

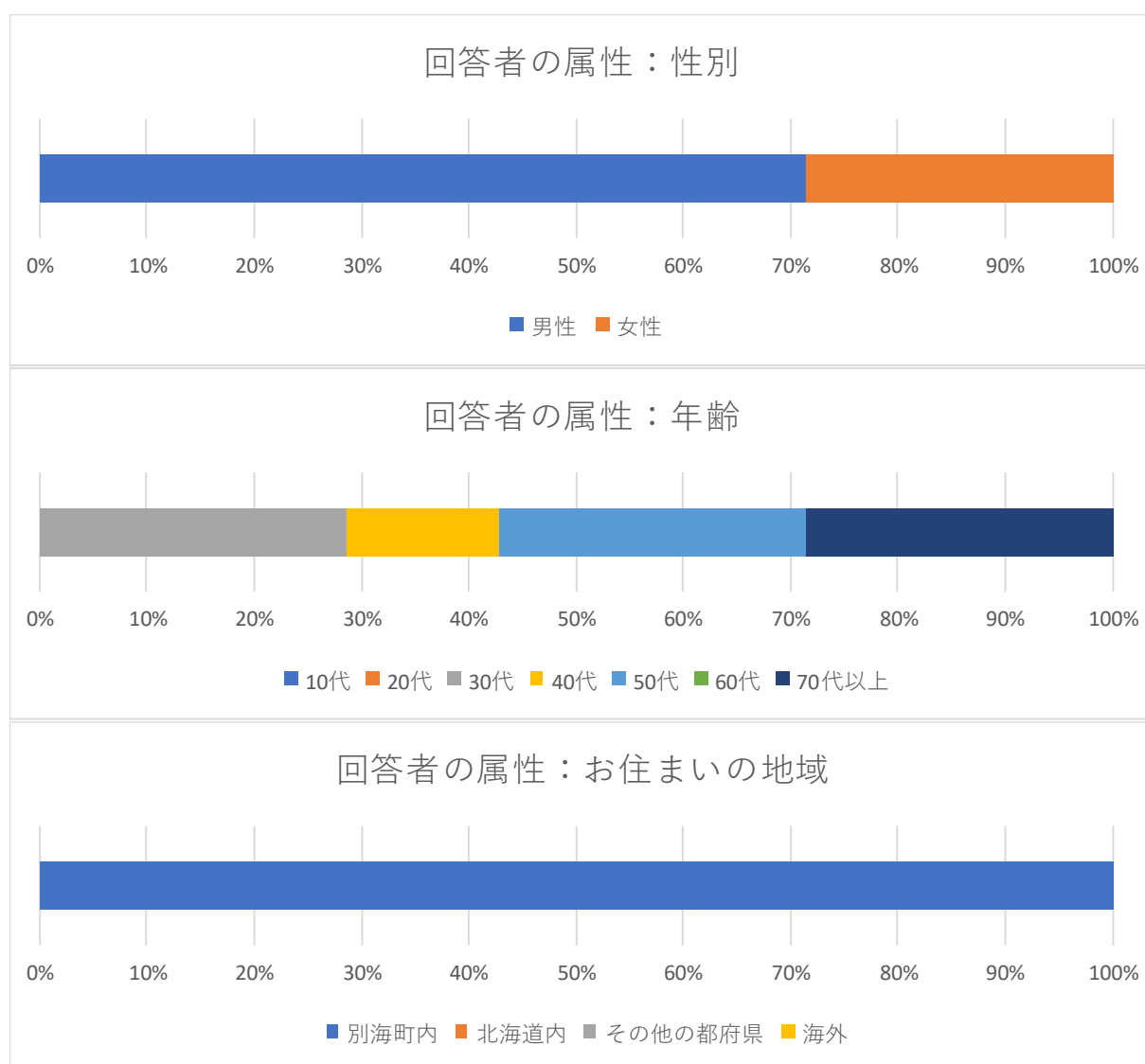
情報発信がまだまだ足りないと思います。Twitter、YouTube など若い人がよく見る所で広報をして多くの人に別海町を知ってもらうべき。別海町を知っている人がそもそも少ない…。バイクでツーリングしている本州の人に知ってもらえると良いかも。ターゲットを絞って広報するのも良いかも。バイクで旅する人、自然が好きな写真家、自衛隊マニアの人たち、動物好きな人→牛、馬、オジロワシなど
町内の小中学生に課外活動の一環として体験、史料の説明と別海町民としての歴史をきちんと学ばせるべき。
別海町単独で文化の継承を行おうとすると予算等の理由で必ず衰退していつてしまう。その為、別海町のみならず近隣町村等と連携していくことが重要だと思料する。(例：各町村の名所を結ぶバイクロードをまとめ、ご当地スタンプを設置、又、資金も足りなければクラウドファンディングを用いてアピールする+募金をつのる)
歴史は大切だと思うが、それが未来の足かせになってはいけない。新しい歴史を作り、別海町にしか出来ない何かを見つけてほしい。保存の維持・修理・管理、ムダ金を使うべきかどうか？このアンケートがムダにならない為にも今1度考える必要があると思います。
上春別朝日地区の M さんに、おたからが有りますよ。行ってみたら良いと思います。
小学生の時に郷土資料館に授業で行き、資料を色々見て最後に自分たちでおせんべいみたいなものを作って食べたのが美味しくて今でもよく覚えているので、今もやっているかは分かりませんが、小学生の授業で郷土資料館に行くというのは続けていったら良いと思います。
ふだんなかなか足がむきにくいので、イベントなど、子どもも楽しめるような事があると、行ってみようかなと思います。すすく学級などでお世話になりました。これからよろしくお願い致します。
別海町外への宣伝（テレビ、取材、SNS(インスタグラム、TikTok)）の強化、絶景撮影場所の紹介、お祭りの開催、 <u>一度町を離れた人も戻ってこられるような環境・制度の強化</u>
・別海のおたからを説明、案内等できるプロのガイド育成（予算面でも保障）、・係、担当者の方々の努力に感謝、感謝です。
テレビに投稿するとか
郷土資料館の老朽化もすすんでいるので、発信基地として施設の再開発をのぞみます。
・知名度を高める、・宝箱に入れる
資料館等の充実。みなくるをもっと活用できないでしょうか？人の集まる所から発信できないでしょうか？
別海のおたからについて知らなすぎて申し訳ありません。
多様な価値観の中で、多くの町民の理解を得て保存しようと思わない方が良いのでは。知っている人は知っている、そのぐらいで静かに守る、そのほうが保護につながるのではないかと思う。
守るべき物を数点選定し保存する。広げない。
『別海のおたから紹介』資料で、知らなかったものも結構あって、とても参考になりました。まずは「知る」というのは大事だと思います。江戸時代～明治あたりの別海の事も以前から興味があり、数年前の企画展で缶詰工場の存在を知って「そうだったんだー」と。古文書にもとても興味がありますが、行くならじっくり見たいと思うと結局行けなかったりしています。
おたからと云えない物もかなりある。

別紙(問 10) まず町民に周知し、十分に知ってもらうことが重要と思います。「別海音頭」のように保存会活動されているものもありますが、ほとんどは町主導による管理が多いように思います。 1.「おたから」をまず町民皆に知ってもらうことが重要なことと思います。 2. その意味では、今回のアンケートの試みは、大変良いと思います。 3. 今回の「おたから紹介」冊子は全部載っていて大変良かったと思います。 4. 如何に町民に知ってもらうか、また町外のお客様にも知ってもらうためにも、町広報掲載並びに町ホームページに整理して、分かり易く掲載してはどうだろうか。特に広報では、ある 1 年間は「べつかいのおたから」と題して、表紙などに特集してはどうでしょうか。(またそれぞれの地域の方々にインタビューし、掲載するなど) 5. 指定の文化財、歴史文化遺産などは、説明書き表示板などを精査し、その場所で指定事由や歴史など紹介を、分かり易く表示すると良いと思います。 6. 観覧に関して A・B・C コースなどコースを設定して周知し、選んでもらうなども良いのではないかと。(別海町は広いので、距離・所要時間なども掲載してあげると良いのではないかと) 7. 第一次産業と観光を、この「べつかいたから」とマッチングした取り組みが重要と思います。
別海のお宝がどこにあるのかなど、ふだんわからなく、わかりやすく地図などあれば行ってみようと思いますが、別海町は広くて、なかなか行こうと思えないので、行きたくなるような情報があるといいと思います。
町民も知らない人が多いと思うので、まず町民に周知していくことが大切かなと思います。
散歩コースを作る。野付半島めぐりのバスを出す。
保存会など作る
ミナクルのロビーで古い時代の品の展示はいかがでしょうか。我が家には馬の首に下げたスズ、針箱もあります。
おたからにエピソードを付けて冊子にして下さい。
私はもう 70 代後半です。別海町に生まれ現在も別海町に住んでいます。しかし昔は別海町中心にいろいろイベントがありずいぶん参加協力して来ましたが。今はそれが少なく町民同志がふれあう時間がない事が残念に思います。
農家さんにはたくさんの昔の農器具や生活用品、昔の本などがあると思いますが、ほったらかしにしてるのがほとんど。今は実家閉いもする場合があります。そんな時は雑品屋行きか場合には埋められてしまったりするので広報など利用して声かけして引き取りに行く。もしくは持って来てもらったりすると良いと思います。昔の物に価値がないと思ってる人も多いので周知するのも大切だと思います。
別海町のおたからスタンプラリー
防災無線を地域ニュースとしてもっと活用してはどうでしょうか。
古い地図と、当時の写真とのリンクをすれば面白いと思う。大正や昭和初期の写真のライブラリーがあったら良いと思う。市街地であれば、その当時にその土地がどのような状況であったかわかる、調べられるような場所、本等があったら面白い。
観光として立ち寄って頂くようにしていかなければ守りぬいていく事はむずかしいと思う。今の若い方は別海町おたからを知らないと思われる。これといった物も決めて、もっと活用、宣伝していくべきかと考えます。数が多すぎる。
おたからと現代の融合イベント。おたから映像のプロジェクションマッピングなど。ドローンでおたから探索などをして、SNS での発信。

WEB アンケート調査結果

1. 回答者の属性（問 1～4）

性別、年齢、お住まいの地域、地区名の 4 項目を回答者の属性として設定しました。性別は男性 71%（5 名）、女性 29%（2 名）と男性からの回答率が高くなっています。年齢は 10 代と 20 代が 0%、30 代が 28.5%（2 名）、40 代が 14.5%（1 名）、50 代が 28.5%（2 名）、60 代が 0%、70 代以上が 28.5%（2 名）となっています。お住まいの地域は 7 名ともに「別海町内」であり、地区名は別海町別海が 2 名、別海常盤町が 2 名、別海川上町が 2 名、別海地区が 1 名となっています。



2. 将来残したい別海のおたから（問5）

西春別、本別海～野付半島に分布している縄文・続縄文、擦文・オホーツク文化、アイヌ文化の遺跡。
飯寿司、トバ、ちゃんちゃん焼きなどの郷土料理のレシピ 町の個人商店とその歴史 海岸線の風景 茨散沼の道から見る海の景色 ヤウシュベツ川河口 西別川河口
百人一首（下の句かるた） 昨年北海道遺産に選ばれた百人一首。 我が町にもたくさんの歴史があると思います。今でも別海と野付の少年団は全道大会で優秀な結果を残すなど少人数ながら活動してます。ぜひこの伝統を継承して欲しいです。
別海に移住してきてまだ10年もたたない新参者ですが、別海町は観光情報に限らず様々な情報発信が不得手なんだと感じる事が多々あります。今住んでいるところの近くに別海十景?の茨散沼というところがあるようですが、どう行けばいいのか不明。案内の看板があるわけでもなく、ただgooglemap上に表示されているだけ。他の九景はどこなのか?そもそもどんな背景で十景なのか歴史的な背景も不明。地元の間人はわかっていることでも、外部の間人にわかるように行政として様々な観光資源をアピールしてくれないと牛以外何にも無い町。知床などへのただの移動拠点で終わってしまってますよ。別海町の農畜産物も別海町内でどこで購入できるのか、そもそも近隣のスーパーに行かないと買えない状況とか改善してほしいですね。産業祭以外にも何かとお祭り、イベントがあるみたいですが、それぞれがバラバラにお知らせしているようですが、別海町ではこんなイベントがありますよと集約して発信もして欲しい。ダブったとしても決して無駄ではないと思います。近隣の道の駅とか、案内所に行くと、別け隔てなくとてもたくさんの情報が溢れていてワクワクします。牧場カフェや海産物の販売所。それぞれの魚種の漁期など、特定のお店の紹介だとマズイでしょうから一度総ざらいして営業しているしてない、営業日はいつか、事前確認が必要なのか、時期によってこれがある。など地域おこし協力隊員さんとともに盛り上げてもらいたい!
西別稲荷神社
野付半島／尾岱沼 奥行白駒通 旧国鉄標津線フットパス 矢白別平和資料館 別海パイロットマラソン 旧豊原小学校パイロットファーム資料館 生乳生産量日本一 ジャンボホタテバーガー 酪農研修牧場 JAのソフトクリーム パークゴルフ場+ランニングコース ふるさとの森

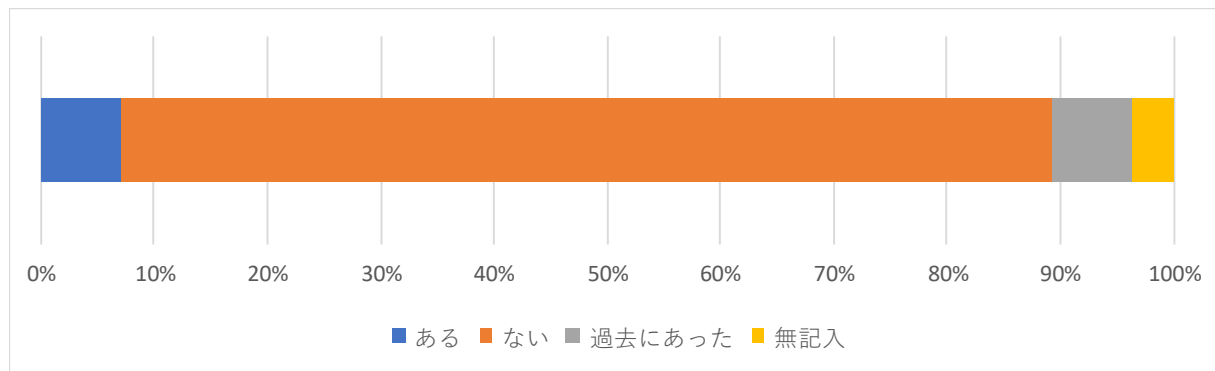
自治会アンケート調査結果

1. 回答者の属性

別海町内の 28 の自治会代表者から回答がありました。

2. 自治会で所有・管理している資料等について（質問 1、2）

資料等が「ある」が 2 件、「ない」が 23 件、「過去にあった」が 2 件、無記入が 1 件であり、「ない」の割合が 82%と最も多くなっています。



資料等が「ある」、「過去にあった」場合の内容は、以下のとおりです。

町内会の記録。昭和初期の物を見た事が有る。
①ひょうたん山、②春別駅
昭和初期以後の西別の様子の写真（200 枚位）（※個人所有）
写真、カラオケセット（8トラック）

3. 地域のおたからについて（質問3）

郷土芸能の本別酪農太鼓。掩体壕が三基。お地藏さんがひとつ有ります。計根別飛行場の跡地には、いろいろな施設の基礎コンクリートが残っています。コンクリート製の小さな小屋状の物で上部に空いた穴から航空機を射撃する為と思われる物体が畑の中に有ります。
①ひょうたん山(町の所有):中春別のシンボルとして、永年親しまれて来ましたが、2021年(令和2年)土砂災害警戒区域指定解除の為、山を取崩し、平坦な土地に致しました。(当時の山の写真はあります。) ②春別駅:中春別の唯一の交通機関として鉄道が使われていた。(当時の写真はありますが、必要とあれば探します。)
戸数が減りました。後片付も進みかなりの物が消失されたと思われます。何があったか解りませんが、地区にあった旧軍飛行場施設の見取図を見たことがあります。まだどこにあるのでは。集まりがあったら聞いてみます。
雪印乳業別海工場(旧名)から雪印メグミルク別海工場と名前を変えたが別海町の中でも「工場」と名の付く乳業関係の会社は他に明治、森永の3社と思われる。酪農王国別海の発展はこの工場と切っても切れない関係にあり、今のうちにそれぞれの創業時からの歩みや歴史について整理しておく必要があると思われる。
旧西別小学校の校舎であった郷土資料館や子どもたちがスケートに使用していた沼など年配者には思い出深い存在です。
子供の頃の遊び…昭和30年代・40年代の主に男児の遊び「ヤケ」詳しいルールはかなり曖昧ですが、西別近辺の男児の遊びとして記憶がある。
古い漁具等は多少有ると思います。秋アジに関する浜ならではの料理は多い。→飯寿司、焼き漬け、キモ、チュウなど。西丸別川からはワカサギが秋そ上し、冬バラサン沼でけっこう釣れている。フナ・ウグイ・イトウ等も生息している。
雌阿寒岳の噴煙、遠音別岳の雪形・見返りキツネ(5月頃)国後島の羅臼山などがそれぞれ直線距離で80km程あるが奥行からも見える場所が別々にあります。奥行で一番高いであろう所からは国後島の東端にある爺爺岳もたぶん視界が良ければ見えるかもしれませんが。昨年末に初めてそこへ行ったのでまだ確認は出来てません。世界一美しい二重火山(内閣府北方対策本部)が奥行から見えるかもしれないと思うとワクワクします!!
①代護橋:昭和52-53年頃完成、Iさん親子三代渡り初め式 ②軌道の跡 ③櫓の木(落葉高木):入植した時には、もうあった木。 ④協同小屋(開拓者の泊まる所):Kさん宅ウラ ⑤中西別国道343号線 桜植樹:中西別桜チーム、Hさん、Iさん ⑥古い看板2点
個人では所有していると思うが、町内会としては分からない。
戦時中に落下して来たB-21?の翼が消防団施設屋外にあります。
写真は町内会の行事の記録です。街並もお祭りの時などのバックとして写っているようです。
山形神社跡、家畜診療所跡、山形会館跡、O家入殖時の写真